

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（1・3組：α小池このみ）（2・4・5組：α黒野なつ美）（1～5β組：高嶋さとり）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（大修館書店 新編 論理国語）

教科 国語 の目標：主体的な学びを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、創造的に考える力を培う

【知識及び技能】言葉が持つ価値の認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、実社会・実生活において実践できる力を培っていく。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読						
1 学 期	A「論理的な入」とはどういう入か ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	・「論理」についての筆者の考えを読み取る。 ・筆者の主張をふまえ、これからの学習に興味をもつ。 ・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○	○	【知識・技能】 ・効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)ニ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶことについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	○	○	○	6
	B対話の精神 【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとりえようとしている。	・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。 ・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○	○	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとりえようとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	C単元「考える養」であり続ける ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。 ・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。〔B(1)ア〕 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論理を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとりえようとしている。	○	○	○	7
D単元 論理的に書く 一小論文① 【知識及び技能】 ・根拠を明示しながら論理的に主張を書く。 【思考力、判断力、表現力等】 ・接続表現を適切に使って、論理的な文章を書く。 【学びに向かう力、人間性等】	・序論・本論・結論を十分に踏まえて、時間をかけて説得力のある小論文を作成する。 ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○	○	【知識・技能】 ・小論文における、根拠を明確にししながら主張を論理的に書く方法や、主張と根拠を示す接続表現について理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、根拠とする情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・小論文を書くことに興味をもち、適切な根拠を示しながら、自分の主張を展開しようとしている。	○	○	○	6	
定期考査						○	○		1	
2 学 期	筆者の「海外旅行難航」は本当か？ 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにする。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりえようとしている。 ・文章と統計資料の関係を的確に読み取る。 ・データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。 ・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりえようとしている。	○	○	○	7
	紙の本はなくなるなら？ 【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論理を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈していく。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取る。	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○	○	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論理を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取る。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1	

期	<p>反論を想定して書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>反論を想定し、説得力のある小論文を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>反論を想定し、説得力のある小論文を書く。</li> <li>漢字意味調べプリント</li> <li>漢字小テスト</li> <li>個人端末利用</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。〔(1)ウ〕</li> <li>小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)エ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して根拠を考え、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書いている。〔A(1)ウ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文を書くことに興味をもち、反論やその根拠を想定して、自分の主張を展開しようとしている。</li> </ul>					7	
	<p>量の時代から質の時代へ</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしていく。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえさせる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係を理解させていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。</li> <li>統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。</li> <li>漢字意味調べプリント</li> <li>漢字小テスト</li> <li>個人端末利用</li> <li>グループワークでの発表・討論</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ウ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。〔B(1)イ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりあうようとしている。</li> </ul>					6	
	定期考査											
3 学期	<p>情報化と紙の本のゆくえ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。</li> <li>具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。〔B(1)ウ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報を的確に比較・整理しながら、情報化社会についての筆者の考えを読み取るようとしている。</li> </ul>					7	
	<p>反論を想定して書こう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。</li> <li>具体例の役割や根拠に注意しながら筆者の主張を読み取る。</li> </ul>				<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深めている。〔(1)ウ〕</li> <li>小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)エ〕</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「書くこと」において、立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して根拠を考え、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫し、説得力のある文章を書いている。〔A(1)ウ〕</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小論文を書くことに興味をもち、反論やその根拠を想定して、自分の主張を展開しようとしている。</li> </ul>					6	
	定期考査											1
											合計	70

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語 科目：文学国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 組～組

教科担当者：（1・3・5組：α高崎さとり）（2・4組：α内田博子）（1～5β組：小池このみ）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（大修館書店 新編 文学国語）

教科 国語 の目標：主体的な学びを通して、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、論理的、創造的に考える力を培う。

【知識及び技能】言葉が持つ価値の認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす能力を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすと、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A そとみとなかみ 【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解する。〔(1)ア〕 ・人間、社会、自然などに対するものの方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深める。	・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○		【知識・技能】 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 ・人間、社会、自然などに対するものの方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の考え方と比較しながら、自分の生き方について考えを深めようとしている。	○	○	○	7
	B ナイン 【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取る。	・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○		【知識・技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文学作品の描写や会話、特徴のある表現に興味をもち、登場人物の人間関係や心理を読み取ろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
	C 見の喰ひたること 【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深める。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉える。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取る。	・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○		【知識・技能】 ・文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。〔B(1)ア〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、登場人物の言動や話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	8
	D 小景異情 【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深める。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察する。〔B(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わう。	・漢字意味調べプリント ・漢字小テスト ・個人端末利用 ・グループワークでの発表・討論	○	○		【知識・技能】 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。〔(1)ウ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。〔B(1)エ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・詩を読むことに興味をもち、その形式や表現の特徴を意識しながら、情景や心情を味わおうとしている。	○	○	○	7
定期考査						○	○		1	







大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 地理歴史科 科目 歴史総合

教科： 地理歴史科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1組～ 5組

教科担当者： （ 1組：北爪 （ 2組：北爪 （ 3組：北爪 （ 4組：北爪 （ 5組：北爪 （ 組： ）

使用教科書： （ 高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来 『第一学習社』 ）

教科 地理歴史科 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
単元「歴史の扉」 【知識及び技能】 歴史を構成する様々な資料（史料）を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 資料（資料）の特性と取り扱いに慣れる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を設定し、情報や資料（史料）を収集・調査し、整理・分析し、プレゼンする。	・指導事項 図書館の活用、博物館の活用、インターネットの活用、聞き取り調査、フィールドワーク等 ・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 歴史を構成する様々な資料（史料）を読み取ることができる。 【思考・判断・表現】 資料（資料）の特性と取り扱いに迅速に対応できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題を設定し、情報や資料（史料）を収集・調査し、整理・分析し、プレゼンすることができる。				5
単元「18世紀のアジアの繁栄」 【知識及び技能】 清とヨーロッパ貿易の制限について考える。東アジアの文化・生活について事例をあげる。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジアでの国際秩序形成について理解する。社会や経済に共通することに目を向ける。 【学びに向かう力、人間性等】 清と東アジア諸国の関係を整理する。東アジアの社会や経済の共通点と相違点を整理する。	・指導事項 「清が東アジアに君臨した」「東アジアは成熟期をむかえた」「人々の政府を自らつくる」「政治は国民のために」「自由主義とナショナリズムが広まった」「イギリスの影響力が世界におよんだ」「イギリスに追いつき、追いこせ」「アメリカは内乱を経て国民統合をはたした」 ・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 清とヨーロッパ貿易の制限について考え、東アジアの文化・生活について事例をあげることができる。 【思考・判断・表現】 東アジアでの国際秩序形成について理解し、社会や経済に共通することをまとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 清と東アジア諸国の関係を整理し、東アジアの社会や経済の共通点と相違点を整理することができる。				8
定期考査						1
単元「工業化の進展と国民国家の建設」 【知識及び技能】 ヨーロッパ・アメリカにおける近代化の進捗を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際商業の展開や資本主義の成立を構造的に認識できる。 【学びに向かう力、人間性等】 産業革命・市民革命・独立運動がどう人々に影響を与えたか考える。	・指導事項 「砂糖入り紅茶とキャラコに魅せられて」「国産化が世界をつくり変える」 ・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ヨーロッパ・アメリカにおける近代化の進捗度やその背景を理解できる。 【思考・判断・表現】 歴史の見方や考え方を意識し、国際商業の展開や資本主義の成立を構造的に理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命・市民革命・独立運動がどう人々に影響を与えたか分析できる。				8
単元「結びつく世界と日本の開国」 【知識及び技能】 1860年代における国際情勢を整理する。 【思考力、判断力、表現力等】 政治指導者がどう判断し、それがどう影響を与えていったか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 興味・関心を抱いた事例をもとに教科書外での探究を進める。	・指導事項 「ヨーロッパがもたらした衝撃」「南アジア・東南アジアの落日」「清と日本が開港をせまられた」「清と日本は外圧に対応した」「日本の国境・領土が定まった」「日本も立憲国家となった」 ・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 1860年代における国際関係を図式化したり、フローチャート化したりできる。 【思考・判断・表現】 政治指導者の思考や判断を考え、その後の影響を把握し、それがどうその後につながっていったか理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 興味・関心ををさらに展開させ、新事実や仮想を立て、それを検証することができる。				7
定期考査						1

2 学 期	<p>単元「帝国主義とアジア諸国の変容」</p> <p>【知識及び技能】 「帝国主義」「社会主義」「共産主義」などの用語を定義づけてみる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 植民地とはどういうものか調べ、植民地した地域とそうでない地域の相違点を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 「帝国主義」が「資本主義」や「民主主義」の産物であることを把握する。</p>	<p>・指導事項 「可能なら、惑星も併合したい」「日本は、初の大規模な対外戦争を引き起こした」「日露戦争に世界が注目した」「韓国は植民地となり、清は倒れた」「糸がささえ産業革命」「何のために学ぶのか」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 自分で考えた「帝国主義」「社会主義」「共産主義」などの用語が妥当かどうか検証できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 植民地とはどういうものか調べ、植民地した地域とそうでない地域の相違点を理解できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 「帝国主義」が「資本主義」や「民主主義」の産物であることを理解し、さらに深く考えることができる。</p>	○	○	○	6
	<p>単元「第一次世界大戦と大衆社会」</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦がもたらした変化を生活・物資・軍需品などと整理して把握する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大衆の選択が政治に影響をあたえ、また政治が大衆を利用する過程などを理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 なぜ第一次世界大戦が生じ、総力戦となったのか認識できる。</p>	<p>・指導事項 「すべてが戦争に巻き込まれた」「世界初の社会主義国家が誕生した」「第一次世界大戦がアジアにもたらしたもの」「朝鮮・中国の民衆が立ち上がった」「空前の繁栄と光と陰」「大衆が政治を動かしたはじめた」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦がもたらした変化を生活・物資・軍需品などと整理でき、その意義を理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 大衆の行動がどう影響を与え、それがどう変容していくのか整理できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 なぜ第一次世界大戦が生じ、総力戦となったのか整理し、分析できる。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	<p>単元「経済危機と第二次世界大戦」</p> <p>【知識及び技能】 経済の変容と民主主義の在り方を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 政治的な面だけでなく、経済・社会・文化等の動きから戦争を見つめなおすことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p>	<p>・指導事項 「恐慌の嵐が吹き荒れる」「大衆は新たな勢力に期待をかけた」「日本と中国の対立が深まった」「世界は戦争の道を歩みはじめた」「ふたたび世界大戦がはじまった」「戦争が終わった」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 経済の変容が国際間の悪化にもつながり、それが紛争の素となることを理解できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 一般的な生活の面からでも無意識のうちに戦争につながる要素があることを認識し、今現在のこととしてそのようなことに結びつきそうな事例を発表する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p>	○	○	○	8
	<p>単元「第二次世界大戦後の世界と日本」</p> <p>【知識及び技能】 日本が復興した要素を考え、その背景には何があったのか理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本の復興を国際情勢の中から考え、どのような要素が日本の復興につながっていったのか理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 日本人の文化論としてではなく、日本の復興の背景にはどのようなことがあったのか調べてみる。</p>	<p>・指導事項 「新しい世界秩序が築かれた」「日本は連合国に占領された」「冷戦の影響は東アジアにもおよんだ」「日本は新たな道を歩みはじめた」「奇跡の高度成長がはじまった」「アメリカも中国もゆれ動いた」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 日本が復興した要素を考え、その背景には何があったのか分析し、各グループごとに調べてみる。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本の復興を国際情勢の中から考え、国際情勢がどのように変化していったのか考え、日本の復興に必要なものを取り上げてみる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 日本人の文化論としてではなく、日本の復興の背景にはどのようなことがあったのか理解できる。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	<p>単元「冷戦と脱植民地化・第三世界の台頭」</p> <p>【知識及び技能】 冷戦が生じた理由と、冷戦下で客観的姿勢から第三の道を模索した国の動向を考える。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下で東西陣営に与しない国家があったこと、冷戦下で同盟関係を結んだ国があったことを整理する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下で冷戦はなくなった地域を調べ、そこではどのようなことが行われていたのか調べる。</p>	<p>・指導事項 「新しい世界秩序が築かれた」「日本は連合国に占領された」「冷戦の影響は東アジアにもおよんだ」「日本は新たな道を歩みはじめた」「奇跡の高度成長がはじまった」「アメリカも中国もゆれ動いた」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 冷戦とは何だったのか分析し、冷戦下で客観的姿勢から第三の道を模索した国の動向を調べる。</p> <p>【思考・判断・表現】 どうして冷戦下で東西陣営に与しない国家があり、冷戦下で同盟関係を結んだ国があったのか理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 実際に戦場となった地域の様子を多くの資料の中から見出し、戦争の状況を把握し、戦争の悲惨さを理解する。</p>	○	○	○	4
	<p>単元「世界秩序の変容と日本」</p> <p>【知識及び技能】 世界的な機関、NGO、自由貿易圏などを把握し、それがどのような活動を具体的に展開しているのか理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 今後の国際社会において、平和を模索するうえで必要な法律や組織とは何か仮説検証する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 今後人類がどのような方向性を示し、どのような社会を目指していくのか考えていく。</p>	<p>・指導事項 「世界を揺るがした2つのショック」「アジアが躍動する」「冷戦が終わり、そしてソ連は消滅した」「唯一の超大国アメリカがゆらいだ」「グローバル化の光と陰」「時代の転換点に立って」</p> <p>・教材 文献資料（資料）、画像、オーラルヒストリー、文学作品・漫画等 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 世界的な機関、NGO、自由貿易圏などを把握し、どのような活動を具体的に展開しているのか説明できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 今後の国際社会において、平和を模索するうえで必要な法律や組織とは何か科学的・客観的に証明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsや新型コロナの問題や在り方、国際紛争の処理方法や軍事力の格差の問題、テロ行動や民族対立など、平和な社会を築くうえで具体的な問題提起ができる。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	合計 70

大田桜台高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科：数学 科目：数学A 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組 選択者

教科担当者：望月梨衣

使用教科書：（最新数学A 数研出版）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考えを数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見いだし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見いだし、教理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【知識及び技能】 ①三角形に関する基本的な性質について理解している。 ②円に関する基本的な性質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ②コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①図形の性質に着目して解法に取り組もうとする。	・指導事項 1. 三角形の辺と比 2. 三角形の外心・内心・重心 3. チェバの定理・メネラウスの定理 4. 円に内接する四角形 5. 円と直線 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①三角形と比の定理 理解しそれを用いて線分の長さを求めることができる。 ②線分の内分、外分、三角形の角の二等分線と線分の比に関する定理を理解し、それらを用いて線分の長さを求めることができる。 ③三角形の重心、外心、内心の性質を利用して、線分の長さや角の大きさを求めることができる。 ④円周角の定理を理解し、それを用いて角の大きさを求めることができる。 ⑤ 円周角の 定理の逆を理解し、それを用いて4点が同一円周上にあるかどうか判断することができる。 ⑥円に内接する四角形の性質を理解し、それを用いて角の大きさを求めることができる。 ⑦四角形が円に内接する条件を利用して、四角形が円に内接するかどうか判断することができる。 【思考・判断・表現】 ①三角形と比の定理を利用して、線分を3等分する方法を考察することができる。 ②三角形の内角の二等分線と比の定理を利用して、線分を与えられた比に内分する作図について考察することができる。 ③三角形の重心、外心、内心のもつ性質を基に、折り紙や作図について説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①三角形と比の定理を利用して、線分を3等分する方法を考察しようとしている。 ②三角形の内角の二等分線と比の定理を利用して、線分を与えられた比に内分する作図について考察しようとしている。 ③三角形の重心、外心、内心のもつ性質を基に、折り紙や作図について説明しようとしている。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1
1学期 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【知識及び技能】 ①三角形に関する基本的な性質について理解している。 ②円に関する基本的な性質について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ①図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。 ②コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①図形の性質に着目して解法に取り組もうとする。	・指導事項 5. 円と直線 6. 2つの円 7. 作図 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①円の接線の長さに関する定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 ②接線と弦のつくる角の定理を理解し、それを用いて角の大きさを求めることができる。 ③方べきの定理を理解し、それを用いて線分の長さを求めることができる。 ④2つの円の位置関係を理解し、共通接線の数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①円の接線の性質と三平方の定理を基に、円の接線の長さを考察することができる。 ②円の接線の性質を基に、円の接線の作図を考察することができる。 ③円周角の定理や円に内接する四角形の定理から類推することで、接線と弦のつくる角の定理を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①円の接線の性質を基に、円の接線の作図を考察しようとしている。 ②円周角の定理や円に内接する四角形の定理を振り返り、そこから類推することで接線と弦のつくる角の定理を考察しようとしている。	○	○	○	8

2 学 期	<p>第2章 図形の性質 第2節 空間図形</p> <p>【知識及び技能】 ①空間図形に関する基本的な性質について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見いだし、その性質について論理的に考察したり説明したりすることができる。</p> <p>②コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどして、図形の性質や作図について統合的・発展的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①図形の性質に着目して解法に取り組もうとする。</p>	<p>・指導事項 8. 直線と平面 9. 空間図形と多面体</p> <p>・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①空間における2直線、2平面、直線と平面の位置関係を理解し、2直線のなす角や2平面のなす角を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①正多面体の頂点数、辺の数、面の数の間にある関係や、見え方について考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①正多面体の頂点数、辺の数、面の数の間にある関係や、見え方について考察しようとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
	<p>第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数</p> <p>【知識及び技能】 ①集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解している。</p> <p>②具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>	<p>・指導事項 1. 集合の要素と個数 2. 場合の数 3. 順列 4. 組合せ ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①部分集合、共通部分、和集合、空集合、全体集合、補集合などの用語、記号を理解し、記号や図を用いて表すことができる。</p> <p>②集合の要素の個数に関する基本的な関係を理解し、それらを利用して集合の要素の個数を求めることができる。</p> <p>③和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解し、それらを用いて場合の数を求めることができる。</p> <p>④順列の意味を理解し、その総数を求めることができる。</p> <p>⑤重複順列について理解し、その総数を求めることができる。</p> <p>⑥円順列について理解し、その総数を求めることができる。</p> <p>⑦組合せの意味を理解し、その総数を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①2つの数の集合の和集合の要素の個数を調べることで、和集合の要素の個数について考察することができる。</p> <p>②順列の考え方を利用して、いろいろな場合の数を求めることができる。</p> <p>③円順列の総数の求め方を、人が手をつないで輪を作る場面を基にして考察することができる。</p> <p>④順列と組合せを対比することによって、組合せの総数の求め方を順列の総数の求め方から考察することができる。</p> <p>⑤組合せの考え方を利用して、いろいろな場合の数を求めることができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①2つの数の集合の和集合の要素の個数を調べることで、和集合の要素の個数について考察しようとしている。</p> <p>②順列の考え方を利用して、いろいろな場合の数を求めようとしている。</p> <p>③円順列の総数の求め方を、人が手をつないで輪を作る場面を基にして考察しようとしている。</p> <p>④順列について振り返り、順列と組合せを対比することによって、組合せの総数の求め方を考察しようとしている。</p> <p>⑤組合せの考え方を利用して、いろいろな場合の数を求めようとしている。</p>	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
<p>第1章 場合の数と確率 第2節 確率</p> <p>【知識及び技能】 ①確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求めることができる。</p> <p>②独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求めることができる。</p> <p>③条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察することができる。</p> <p>②確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①事象を場合の数や確率の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。</p>	<p>・指導事項 5. 事象と確率 6. 確率の基本性質 7. 独立な試行と確率 8. 条件付き確率 9. 期待値 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①確率について理解し、場合の数を基に事象の確率を求めることができる。</p> <p>②いろいろな事象について、場合の数を基に、その確率を求めることができる。</p> <p>③確率の加法定理を用いて、和事象の確率を求めることができる。</p> <p>④余事象の確率を利用して、確率を求めることができる。</p> <p>⑤独立な試行の意味を理解し、その確率の公式を利用して確率を求めることができる。</p> <p>⑥反復試行の意味を理解し、その確率の公式を利用して確率を求めることができる。</p> <p>⑦条件付き確率の意味を理解し、具体的な事象についてそれを求めることができる。</p> <p>⑧確率の乗法定理を理解し、これを利用して積事象の確率を求めることができる。</p> <p>⑨期待値について理解し、いろいろな場合について期待値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①確率の性質に基づいて事象の起こりやすさを判断することができる。</p> <p>②具体的な事象を基に、確率の加法定理を考察することができる。</p> <p>③具体的な事象を基に、余事象の確率の公式を考察することができる。</p> <p>④具体的な事象を基に、積事象の確率を考察することができる。</p> <p>⑤期待値を意思決定に利用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①確率の性質を振り返って、事象の起こりやすさを判断しようとしている。</p> <p>②具体的な事象を基に、確率の加法定理を考察しようとしている。</p> <p>③具体的な事象を基に、余事象の確率の公式を考察しようとしている。</p> <p>④具体的な事象を基に、積事象の確率を考察しようとしている。</p> <p>⑤期待値を意思決定に利用しようとしている。</p>	○	○	○	13	
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>第3章 数学と人間の活動</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①数量や図形に関する概念など人間の活動の関わりについて理解している。</p> <p>②数学史的話題、数理的なゲームやパズルなどを通して、数学と文化との関わりについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①数量や図形に関する概念などを、関心に基づいて発展させ考察することができる。</p> <p>②パズルなどに数学的な要素を見だし、目的に応じて数学を活用して考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①人間の活動における数学のよさを認識し、様々な場面で数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。</p> <p>②問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 約数と倍数</p> <p>2. 素数と素因数分解</p> <p>3. 最大公約数・最小公倍数</p> <p>4. 整数の割り算</p> <p>5. ユークリッドの互除法</p> <p>6. 1次不定方程式</p> <p>7. 記数法</p> <p>8. 座標の考え方</p> <p>9. ゲーム・パズルの中の数学</p> <p>・教材</p> <p>教科書・問題集・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解している。</p> <p>②約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる。</p> <p>③素因数分解を利用して最大公約数、最小公倍数を求めることができる。</p> <p>④ユークリッドの互除法を理解し、これを用いて2つの正の整数の最大公約数を求めることができる。</p> <p>⑤1次不定方程式の意味を理解し、整数解の一つを求めることができる。</p> <p>⑥n進法について理解し、その一例である2進法については、10進法との変換もできるようにする。</p> <p>⑦平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解している。</p> <p>⑧空間内の点の位置を表すことができる。</p> <p>⑨ゲームやパズルの中に数学的要素が含まれていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①2つの整数に対して互除法を行うと最大公約数が求められることについて考察することができる。</p> <p>②1次不定方程式整数解を求めることができる。また、ユークリッドの互除法を利用して解法を導くことができる。</p> <p>③2進法、10進法の考えを一般化したn進法について考察することができる。</p> <p>④日常生活の例から、平面上の点の位置の表し方について考察することができる。</p> <p>⑤ゲームやパズルの中数学的要素を見出し、それらを活用して解法を考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①2つの整数に対して互除法を行った結果得られた数について考察しようとしている。</p> <p>②1次不定方程式の整数解を導く過程で得られた数の性質について考察しようとしている。</p> <p>③2進法、10進法の考えを一般化したn進法について考察しようとしている。</p> <p>④平面上の座標の考えを拡張することで、空間内の点の位置の示し方を考察しようとしている。</p> <p>⑤ゲームやパズルの中数学的要素を通して、論理的に考えることのよさを認識することができる。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組 選択者

教科担当者： 望月梨衣

使用教科書： （ なし ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考えを数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の課程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し、入試問題演習に向け得た数学の知識や技能を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 数と式 【知識及び技能】 ①指数法則や展開公式を理解し、複雑な計算に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①複雑な式の展開について、式の工夫の仕方を判断して式を展開することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとする。	・指導事項 1. 1年次の計算の復習 2. 式の展開の工夫 3. いろいろな因数分解 ・教材 プリント・教科書（1年時に使用）・問題集（1年時に使用）・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①1年時に学習した二次の乗法公式及び因数分解の公式を用いた複雑な式の変形について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①問題を解決するためにすでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的にとらえたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①整式の様々な整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
数学Ⅰ 第4章 図形と計量 第2節 正弦定理・余弦定理 【知識及び技能】 ①正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関係付けて理解し、三角形の辺の長さや外接円の半径、三角形の角の大きさ、面積などを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①図形の構成要素間の関係に着目し、入試問題において事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の課程を振り返って数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正弦定理と余弦定理の図形的意味を考察し、活用しようすることができる。 ②入試問題においてなどに正弦定理や余弦定理を活用しようすることができる。	・指導事項 1. 1年次の計算の復習 2. 正弦定理 3. 余弦定理 4. 三角形の面積 5. 入試問題演習 ・教材 プリント・教科書（1年時に使用）・問題集（1年時に使用）・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや外接円の半径、角の大きさを求めることができる。 ②2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 ③三角比で得た知識を演習問題で活用できる。 【思考・判断・表現】 ①条件に合わせて三角形の辺の長さや角の大きさ、面積を求めるための解法への課程を考察することができる。 ②正弦定理や余弦定理を用いて、入試問題が解決できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正弦定理や余弦定理、三角形の面積の公式の図形的意味を考察する。 ②入試問題において正弦定理や余弦定理を活用しようとする。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
1 学 期  数学Ⅰ 第1章 数と式 第1節 数と式 【知識及び技能】 ①指数法則や展開公式を理解し、複雑な計算に用いることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①複雑な式の展開について、式の工夫の仕方を判断して式を展開することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとする。	・指導事項 3. いろいろな因数分解 4. 入試問題演習 ・教材 プリント・教科書（1年時に使用）・問題集（1年時に使用）・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①1年時に学習した二次の乗法公式及び因数分解の公式を用いた複雑な式の変形について理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①問題を解決するためにすでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的にとらえたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①整式の様々な整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	2

	<p>数学Ⅰ 第3章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式</p> <p>【知識及び技能】 ①2次方程式の解と二次関数のグラフとの関係性について理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①2次方程式を因数分解や解の公式を利用して積極的に解こうとすることができる。</p>	<p>・指導事項 1. 2次方程式 2. 2次関数のグラフとx軸の共有点 ・教材 プリント・教科書(1年時に使用)・問題集(1年時に使用)・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①因数分解、解の公式を用いて、2次方程式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 ②2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、<math>D=b^2-4ac</math>の値から考察できる。 ③2次関数のグラフと2次方程式関連づけて考えられる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。 ②身近な問題を、2次方程式を用いて解決しようとする。</p>	○	○	○	5
	<p>数学Ⅰ 第2章 集合と命題</p> <p>【知識及び技能】 ①集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。 ②命題の真偽を、集合や反例などを用いて判定することができる。また、命題とその対偶の真偽が一致することを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 1. 集合と部分集合 2. 共通部分、和集合、補集合 3. 命題と集合 4. 命題と証明 ・教材 プリント・教科書(1年時に使用)・問題集(1年時に使用)・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①真である命題の逆は、真であるとは限らないことを理解している。 ②必要条件、十分条件の意味を理解している。 ③対偶や背理法を用いて証明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 ②命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。 ②直接証明法では難しい命題も、対偶や背理法を用いれば証明できることに興味・関心をもつ。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>数学Ⅰ 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ</p> <p>【知識及び技能】 ①二次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。 ②二次関数の最大値や最小値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①二次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフを書く等の活動を通して多面的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①平行移動した二次関数のグラフを書くことができる。 ②2次関数が最大値または最小値をもつことを、グラフを使って、理解しようすることができる。</p>	<p>・指導事項 1. 関数 2. 関数とグラフ 3. <math>y=ax^2</math>のグラフ 4. <math>y=ax^2+q</math>のグラフ 5. <math>y=a(x-p)^2</math>のグラフ 6. <math>y=a(x-p)^2+q</math>のグラフ 7. <math>y=ax^2+bx+c</math>のグラフ 8. 2次関数の最大・最小 9. 2次関数の決定 10. 入試問題演習 ・教材 プリント・教科書(1年時に使用)・問題集(1年時に使用)・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①xの関数yが与えられたとき、xの値に対するyの値を求めることができる。 ②<math>y=ax^2+bx+c</math>を<math>y=a(x-p)^2+q</math>の形に変形し、そのグラフをかきことができる。 ③2次関数の最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①関数を表、式、グラフによって考察することができる。 ②2次関数のグラフの平行移動は、頂点の移動を考察すればよいことを理解している。 ③2次関数の決定において、適した2次関数の式の形を使うことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①関数が与えられたとき、そのグラフをかこうとする。 ②入試問題を、2次関数の最大・最小の考えを活用して解決しようとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>数学Ⅰ 第3章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式</p> <p>【知識及び技能】 ①2次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ①2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解こうとすることができる。</p>	<p>・指導事項 3. 2次不等式 4. 2次不等式の利用 5. 入試問題演習 ・教材 プリント・教科書(1年時に使用)・問題集(1年時に使用)・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解く方法を理解し、2次不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①2次関数のグラフ、2次方程式、2次不等式を関連づけて考えられる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ①入試問題を、2次方程式や2次不等式を用いて解決しようとする。</p>	○	○	○	10

	<p>数学Ⅰ 第5章 データの分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解することができる。</p> <p>②コンピュータなどの情報機器を用いて、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。</p> <p>②目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①データを整理して全体の傾向を考察しようとするすることができる。</p> <p>②問題の解決や改善を図るために、現状のデータの分布を望ましいと考える方向に変えるための条件や改善策を、コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして探らうとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. データの整理</p> <p>2. データの代表値</p> <p>・教材</p> <p>プリント・教科書(1年時に使用)・問題集(1年時に使用)・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>②データの分布と箱ひげ図の関係について理解し、箱ひげ図をかくことができる。</p> <p>③分散、標準偏差に関する公式を用いて、これらを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切ではないことを理解している。</p> <p>②データの中のある値が外れ値であるかどうかを考察できる。</p> <p>③相関係数の大きさを数値化する方法を考察しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。</p> <p>②データの散らばり具合をどのように数値化するかを考察しようとする。</p> <p>③相関と因果関係について、興味・関心をもつ</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>数学Ⅰ 第5章 データの分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解することができる。</p> <p>②コンピュータなどの情報機器を用いて、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。</p> <p>②目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①データを整理して全体の傾向を考察しようとするすることができる。</p> <p>②問題の解決や改善を図るために、現状のデータの分布を望ましいと考える方向に変えるための条件や改善策を、コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして探らうとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>3. データの散らばり</p> <p>4. データの相関</p> <p>5. 相関係数</p> <p>6. 入試問題演習</p> <p>・教材</p> <p>プリント・教科書(1年時に使用)・問題集(1年時に使用)・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。</p> <p>②データの分布と箱ひげ図の関係について理解し、箱ひげ図をかくことができる。</p> <p>③分散、標準偏差に関する公式を用いて、これらを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切ではないことを理解している。</p> <p>②データの中のある値が外れ値であるかどうかを考察できる。</p> <p>③相関係数の大きさを数値化する方法を考察しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。</p> <p>②データの散らばり具合をどのように数値化するかを考察しようとする。</p> <p>③相関と因果関係について、興味・関心をもつ</p>	○	○	○	5
	<p>数学Ⅰ 入試問題対策</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 入試問題演習</p> <p>・教材</p> <p>プリント・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①事象を得た知識を活用し、数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりできる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①入試に備え、問題の特徴から表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力や適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を考察することができる。</p>	○	○		8
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 5組

教科担当者：（1組：田中春菜）（2組：田中春菜）（3組：田中春菜）（4組：田中春菜）（5組：田中春菜）

使用教科書：（数研出版『新編 化学基礎』）

- 教科 理科 の目標：
- 【知識及び技能】 自然の事物・現象を探究するために必要な観察・実験などに関する知識・技能を育成する。
  - 【思考力、判断力、表現力等】 理科の見方・考え方を働かせ、観察・実験などを行うことを通し、科学的に探究する能力と態度を育てる
  - 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的な自然観を育成する。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
				知	思	態	
1 学 期	物質の構成 【知識及び技能】 混合物を分離する操作の方法をあげることができる。同素体をあげることができる。元素の検出方法を知る。物質の状態と熱運動の関係を知る。 【思考・判断・表現】 分離する操作がどのようなものであるか説明することができる。単体と化合物に分類することができる。同素体とは何か説明できる。物質を加熱・冷却したときの温度変化をグラフに表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物質について興味をもつことができる。元素の概念に興味をもつことができる。日常生活の状態変化について興味をもつことができる。	・混合物・純物質 ・同素体 ・元素の検出 ・物質の三態と熱運動 ・単元に関わる実験 ・教科書、プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 混合物を分離する方法を適切に選択している。同素体をあげている。元素について検出方法を理解している。物質の状態と熱運動の関係を理解している。 【思考・判断・表現】 分離する操作がどのようなものであるか説明している。適切に単体と化合物に分類している。同素体とは何か説明している。物質を加熱・冷却したときの温度変化をグラフに表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りの物質について興味をもっている。元素の概念に興味をもっている。日常生活の状態変化について興味をもっている。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	物質の構成粒子 【知識・技能】 原子の構成粒子を理解することができる。単原子イオンの電子配置を示すことができる。周期律と周期表について理解することができる。 【思考・判断・表現】 どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明できる。電子配置からどのようなイオンになりやすいか判断できる。価電子の数と性質について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 同じ原子でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもつことができる。原子とイオンの違いについて疑問をもつことができる。元素の配列について興味をもつことができる。	・原子の構成粒子 ・電子配置 ・周期律と周期表 ・価電子の数 ・イオン ・単元に関わる実験 ・教科書、プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 原子の構成粒子を理解している。適切に単原子イオンの電子配置を示している。周期律と周期表について理解している。 【思考・判断・表現】 どのような原子が安定であるか、電子配置に基づいて説明している。電子配置からどのようなイオンになりやすいか判断している。価電子の数と性質について説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 同じ原子でも粒子の構成が異なるものがあることに興味をもっている。原子とイオンの違いについて疑問をもっている。元素の配列について興味をもっている。	○	○	○	8
	粒子の結合 【知識及び技能】 イオン結晶の名称と組成式を書ける。電子式・構造式を書ける。共有結合の結晶の構造や性質を理解できる。金属の特徴を理解できる。 【思考・判断・表現】 イオン結晶の性質について説明できる。分子の構造を予想することができる。ダイヤモンドと黒鉛の違いを説明できる。自由電子で金属の特徴を説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りにおけるイオン結晶に興味をもつ。身の回りの分子からなる物質に興味をもつ。共有結合の結晶にはどのような物質があるか興味をもつ。金属の性質について興味をもつことができる。	・イオン結合 ・共有結合 ・金属結合 ・イオン結晶 ・共有結合の結晶 ・金属結晶 ・単元に関する実験 ・教科書、プリント ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 イオン結晶の名称と組成式を書ける。電子式・構造式を書ける。共有結合の結晶の構造や性質を理解している。金属の特徴を理解している。 【思考・判断・表現】 イオン結晶の性質について説明している。分子の構造を予想している。ダイヤモンドと黒鉛の違いを説明している。自由電子で金属の特徴を説明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 身の回りにおけるイオン結晶に興味をもっている。身の回りの分子からなる物質に興味をもっている。共有結合の結晶にはどのような物質があるか興味をもっている。金属の性質について興味をもっている。	○	○	○	8
定期考査				○	○		1



大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 5組

教科担当者：（ 1～5組： 後藤良宏、押元亜希子、茂呂真史、糸井謙 ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配時数
<p>A 単元 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短距離走</li> <li>スポーツテスト</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>技能、技術習得のために適宜活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡して次走者のスピードを十分に高めることができる。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
<p>B 単元 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>体ほぐし運動</li> <li>実生活に生かす運動の計画</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>技能、技術習得のために適宜活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保したりすること。</p>	○	○	○	9
<p>C 単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの泳法</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>技能、技術習得のために適宜活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとし、自己の責任を果たそうとし、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9
<p>E 単元 球技(ベースボール型)</p> <p>【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトボール</li> <li>一人1台端末の活用</li> <li>技能、技術習得のために適宜活用</li> </ul>	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>ベースボール型では安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 攻防などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとし、作戦などについて話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10





大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

外国語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：4 単位

対象学年組：第2学年 1組～ 5組

教科担当者：（12組：三添、岸本、落合）（34組：三添、岸本、寺尾（5組：三添、岸本）

使用教科書：（Power On English CommunicationⅡ 東京書籍）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、意図を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
基本的な語句や文の形・意味・用法を理解することができる。また、理解した語句や文を用いて情報や考え気持などを伝え合うやり取りができる。	日常的・社会的な話題について必要な情報を読みとったり聞き取ったりして情報の意図を把握することができる。また把握した情報を活用しながら、設問に答えたり、自分の考えなどを話したり書いたりできる。	日常的・社会的な話題について背景にある文化に理解を深めようとしている。自律的、主体的に英語を用いて課題に取り組んだり、授業内でコミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
A多読 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、適切に伝えることができる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日常的话题について、外国語で情報や考えなどの概要や要点を的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとする。	・指導事項 多読オリエンテーション(2年) ALTによる読み聞かせ/Q and A ・教材 多読読書本 多読多聴記録手帳 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	26
B Lesson 1 【知識及び技能】 助動詞、受動態、第3文型を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えていく。 【学びに向かう力、人間性等】 日本や海外でのストリートピアノと人々・社会とのかかわりについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。	・指導事項 助動詞、受動態、第3文型 ・教材 授業用自作ワークシート 自習課題 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	7
C Lesson 2 【知識及び技能】 第3文型、使役動詞、知覚動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えていく。 【学びに向かう力、人間性等】 ファストファッションの背後にある問題やエシカルファッションについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。	・指導事項 第3文型、使役動詞、知覚動詞 ・教材 授業用自作ワークシート 自習課題 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○		○	○	○	7
定期考査			○		○		○	○		1

1学期

<p>D Lesson 3 【知識及び技能】 現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節を用いた文 ・教材 授業用自作ワークシート 自習課題 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	<p>D Lesson 3 【知識及び技能】 現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	○	7
<p>E Lesson 4 【知識及び技能】 関係代名詞の主格、目的格、日制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と海外の自動販売機について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と海外の自動販売機について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 現在完了形、過去完了形、仮定法過去のif節を用いた文 ・教材 授業用自作ワークシート 自習課題 ・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	<p>E Lesson 4 【知識及び技能】 関係代名詞の主格、目的格、日制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と海外の自動販売機について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と海外の自動販売機について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。</p>	○	○	○	○	7
<p>定期考査</p>		○			○		○	○			1

A多読	<p>【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、適切に伝えることができる技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 多読オリエンテーション(2年) ALTによる読み聞かせ/Q and A</p> <p>・教材 多読読書本 多読多聴記録手帳</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	A多読 【知識及び技能】 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、情報の要点を的確につかみ、適切に伝えることができる技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 英語の背景にある文化に対する理解を深める。また、新しい表現を文脈から推測したり、相手に応じて言い換えて伝えようとしている。</p>	○	○	○	28
F Lesson 5	<p>【知識及び技能】 助動詞+受動態、SVC[分詞]、SVO[if節]を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ブレイルノイエについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ブレイルノイエについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 助動詞+受動態、SVC[分詞]、SVO[if節]のif節を用いた文</p> <p>・教材 授業用自作ワークシート 自習課題</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	F Lesson 5 【知識及び技能】 助動詞+受動態、SVC[分詞]、SVO[if節]を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 ブレイルノイエについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ブレイルノイエについて、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7
G Lesson 6	<p>【知識及び技能】 It is said that, 形式目的語itとthat節、形式目的語itとto不定詞、助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 It is said that, 形式目的語itとthat節、形式目的語itとto不定詞、助動詞+have+過去分詞</p> <p>・教材 授業用自作ワークシート 自習課題</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	G Lesson 6 【知識及び技能】 It is said that, 形式目的語itとthat節、形式目的語itとto不定詞、助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 新紙幣とキャッシュレス社会について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7
定期考査			○	○	○	○	○	○		○	○	○	1
2学期	<p>【知識及び技能】 関係代名詞(所有格)、同格のthat、前置詞+関係代名詞、関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 色の心理的效果について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 色の心理的效果について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとする。</p>	<p>・指導事項 関係代名詞(所有格)、同格のthat、前置詞+関係代名詞、関係副詞whereの非制限用法を用いた文</p> <p>・教材 授業用自作ワークシート 自習課題</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	○	○	○	○	F Lesson 7 【知識及び技能】 関係代名詞(所有格)、同格のthat、前置詞+関係代名詞、関係副詞whereの非制限用法を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、この理解を基に、必要な情報、相手の意図、概要、要点、詳細を目的に応じて捉えたり、題材について多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを詳しく伝える技能を身に付けている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】 色の心理的效果について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 色の心理的效果について、必要な情報、相手の意図、概要や要点、詳細を捉えたり、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを詳しく伝えようとしている。</p>	○	○	○	7







大田桜台高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 実用英語

教科：外国語 科目：実用英語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 5組

教科担当者：（ 選A： 落合 （ 選B： 五十嵐 ）

使用教科書：（ なし ）

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて話し手や書き手の意図などを的確に理解し、表現したり、伝え合ったりすること

【学びに向かう力、人間性等】日常的、社会的話題について、相手に配慮しながら工夫して、主体的にコミュニケーションを図ろうとする

科目 実用英語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語のきまりや特徴を単に知識として理解させるだけでなく、その培った知識を実際の検定等において活用することができる技能が身につくようにする。	日常的、社会的な話題について、情報を整理しながら、自分の考えなどを形成し、英語を使って文章にしたり、表現したりすることができるようにする。	日常的、社会的な話題について、情報を整理しながら、自分の考えなどを形成し、英語を使って積極的に表現したりすることができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ 書 ）	書						
1 学 期	単語テスト 【知識及び技能】 毎時間テストをすることで、基本的な語彙力を付けていく 【思考力、判断力、表現力等】 学習した語・語句の意味から問題文を解いていく力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 自学自習をすることで、検定や試験に向かう力を養う	・指導事項 試験範囲をきちんと学習して るように伝える ・教材 出る単準2級・配布プリント ・一人1台端末の活用 等		○		○					7
	検定対策 【知識及び技能】 過去問を解き、着実に点数を取れる力を付けていく 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容・事項をもとに、問題文を読んだり、推測したりする力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 自学自習や家庭学習を定着させ、積極的に検定を受ける力を付ける	・指導事項 英検をはじめとした各種検定に対応できるよう文法項目を復習させる ・教材 配布プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○		○					17
	定期考査		○	○		○					1
2 学 期	単語テスト 【知識及び技能】 毎時間テストをすることで、基本的な語彙力を付けていく 【思考力、判断力、表現力等】 学習した語・語句の意味から問題文を解いていく力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 自学自習をすることで、検定や試験に向かう力を養う	・指導事項 試験範囲をきちんと学習して るように伝える ・教材 出る単準2級・配布プリント ・一人1台端末の活用 等		○		○					7
	検定対策 【知識及び技能】 過去問を解き、着実に点数を取れる力を付けていく 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容・事項をもとに、問題文を読んだり、推測したりする力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 自学自習や家庭学習を定着させ、積極的に検定を受ける力を付ける	・指導事項 英検をはじめとした各種検定に対応できるよう文法項目を復習させる ・教材 配布プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○		○					17
	定期考査		○	○		○					1
3 学 期	単語テスト 【知識及び技能】 毎時間テストをすることで、基本的な語彙力を付けていく 【思考力、判断力、表現力等】 学習した語・語句の意味から問題文を解いていく力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 自学自習をすることで、検定や試験に向かう力を養う	・指導事項 試験範囲をきちんと学習して るように伝える ・教材 出る単準2級・配布プリント ・一人1台端末の活用 等		○		○					6
	検定対策 【知識及び技能】 過去問を解き、着実に点数を取れる力を付けていく 【思考力、判断力、表現力等】 学習した内容・事項をもとに、問題文を読んだり、推測したりする力を身に付ける 【学びに向かう力、人間性等】 自学自習や家庭学習を定着させ、積極的に検定を受ける力を付ける	・指導事項 英検をはじめとした各種検定に対応できるよう文法項目を復習させる ・教材 配布プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○		○					13
	定期考査		○	○		○					1
										合 計	70

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用）教科

外国語 科目 国際理解

教科：外国語 科目：国際理解

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～5組

教科担当者：（長谷部 満喜）

使用教科書：（info.box 2022-23 エミル出版）

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の理解を深め、その知識を実際の目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技術を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況などに応じて話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりできる。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションする態度を養う。

科目 国際理解 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の4技能（聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと）について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解している。	時事問題や社会問題、SDGs等の幅広い話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、自律的、主体的に、外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕					
1 学 期 Topic 1：SPORTS Sasaki's Perfect Game 佐々木朗希選手 【知識及び技能】 トピックに関して理解できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 トピックに関して必要な情報、概要や要点を捉えることができるようになる。情報に基づいて自分の考えを伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 トピックについて読んだり調べたりした情報や自分の考えと比べて文化的背景への理解を深め、相手に配慮しながら話して伝えようとする。	(指導事項) ・プレゼンテーションの知識、技術を身に付けるようにする。 ・プレゼンテーション資料の作成及び発表準備を行わせる。 (教材) ・ワークシート (一人1台端末の活用) ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。	○	○	○	○	【知識・技能】 トピックに関して理解できるようになっている。 【思考・判断・表現】 トピックに関して必要な情報、概要や要点を捉えることができるようになっている。情報に基づいて自分の考えを伝えられるようになっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 トピックについて読んだり調べたりした情報や自分の考えと比べて文化的背景への理解を深め、相手に配慮しながら話して伝えようとしている。	○	○	○	11
		授業内考査	○	○			○	○	○	○
Topic 2：WAR Russia Starts War in Ukraine ロシアのウクライナ侵攻 【知識及び技能】 トピックに関して理解できるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 トピックに関して必要な情報、概要や要点を捉えることができるようになる。情報に基づいて自分の考えを伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 トピックについて読んだり調べたりした情報や自分の考えと比べて文化的背景への理解を深め、相手に配慮しながら話して伝えようとする。	(指導事項) ・プレゼンテーションの知識、技術を身に付けるようにする。 ・プレゼンテーション資料の作成及び発表準備を行わせる。 (教材) ・ワークシート (一人1台端末の活用) ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる。	○	○	○	○	【知識・技能】 トピックに関して理解できるようになっている。 【思考・判断・表現】 トピックに関して必要な情報、概要や要点を捉えることができるようになっている。情報に基づいて自分の考えを伝えられるようになっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 トピックについて読んだり調べたりした情報や自分の考えと比べて文化的背景への理解を深め、相手に配慮しながら話して伝えようとしている。	○	○	○	11
		授業内考査	○	○			○	○	○	○



大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 外国語 科目 スペイン語 I

教科：外国語 科目：スペイン語 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（A：米沢・三添）（B：米沢・岸本）（組： ）（組： ）（組： ）（組： ）

使用教科書：（Español Colorido（彩りスペイン語） / Editorial ASAHI（朝日出版社））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】外国語の理解を深め、その知識を実際の目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技術を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況に応じて話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションする態度を養う。

科目 スペイン語 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
スペイン語の基礎的運用能力を、話す・聞く・読む・書くの4技能にわたって習得する。	日常的な話題について必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして情報を把握することができる。また把握した情報を活用しながら、設問に答えたり、会話したり、書いたりできる。	スペイン語圏諸国の文化や日本とスペイン語圏の関係についての知識を深めようとしている。自律的、主体的にスペイン語を用いて課題に取り組んだり、授業内でコミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）					
1 学 期	orientación Lección 1 【知識及び技能】 lección1で扱う語彙・文法事項を理解し発音できる。 【思考力、判断力、表現力等】 lección1で扱う会話(Conversación)・コミュニケーション練習(Actividades comunicativas)読み取り、聞き取ることができる。設定された状況に基づいて応答したり自身の考えを伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 スペイン語圏の国や文化について、読んだり調べたりした情報や、自分の考えと比べて文化的背景への理解を深めようとする。	(語彙) ・Saludos/あいさつ ・Números/数字 (文法事項) ・Alfabeto ・Pronunciación/Acento  ・Ejercicios/Comprensión auditiva(一人1台端末で課題の配布・提出)  ・スペイン語圏の国、文化の紹介①(ワークシート・視聴覚資料等)	○	○	○	○	○	○	○	11
	授業内考査	lección1で扱う新出単語・文法事項について	○	○			○	○		1
	Lección 2 【知識及び技能】 lección2で扱う新出語彙・文法事項を理解し発音できる。 【思考力、判断力、表現力等】 lección2で扱う会話(Conversación)・コミュニケーション練習(Actividades comunicativas)において読み取り、聞き取ることができる。設定された状況に基づいて応答したり自身の考えを伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 スペイン語圏の国や文化について、読んだり調べたりした情報や、自分の考えと比べて文化的背景への理解を深めようとする。	(語彙) ・Sustantivos I/人・モノ ・Loa días de la semana/曜日 Términos de parentesco y profesiones/ 親族名称・職業 (文法事項) ・Sustantivos ・Número de los sustantivos ・Artículos  ・Ejercicios/Comprensión auditiva(一人1台端末で課題の配布・提出)  ・スペイン語圏の国、文化の紹介②③(ワークシート・視聴覚資料等)	○	○	○	○	○	○	○	11
授業内考査	lección2で扱う新出単語・文法事項について	○	○			○	○		1	



大田桜台 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 外国語 科目 中国語 I

教科: 外国語 科目: 中国語 I 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 1 組 ~ 5 組

教科担当者: ( A組: 曹敏・青村 ( B組: 曹敏・青村 ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) ( 組: ) )

使用教科書: ( はじめての中国語 すくすく/朝日出版社 )

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】外国語の理解を深め、その知識を実際の目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技術を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】目的や場面、状況に応じて話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、表現したり伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションする態度を養う。

科目 中国語 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
中国語の基礎的運用能力を、話す・聞く・読む・書くの4技能にわたって習得する。	日常的な話題について必要な情報を読み取ったり聞き取ったりして情報を把握することができる。また把握した情報を活用しながら、設問に答えたり、会話したり、書いたりできる。	中国語圏諸国の文化や日本と中国語圏の関係についての知識を深めようとしている。自律的、主体的に中国語を用いて課題に取り組んだり、授業内でコミュニケーションを図ろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価標準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 ( <small>や</small> )	話 ( <small>発</small> )	書						
1 学期	1 【知識及び技能】 1で扱う語彙・文法事項を理解し発音できる。 【思考力、判断力、表現力等】 1で扱う会話・コミュニケーション練習、読み取り、聞き取ることができる。設定された状況に基づいて応答したり自身の考えを伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 中国語圏の国や文化について、読んだり調べたりした情報や、自分の考えと比べて文化的背景への理解を深めようとする。	(語彙) ・あいさつ ・数字 (文法事項) ・ピンイン ・四声 ・中国語圏の国、文化の紹介① (ワークシート・視聴覚資料等)	○	○	○	○	○		○	○	○	11
	授業内考査	1で扱う新出単語・文法事項について	○	○			○		○	○		1
	2 【知識及び技能】 1で扱う新出語彙・文法事項を理解し発音できる。 【思考力、判断力、表現力等】 2で扱う会話・コミュニケーション練習において読み取り、聞き取ることができる。設定された状況に基づいて応答したり自身の考えを伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 中国語圏の国や文化について、読んだり調べたりした情報や、自分の考えと比べて文化的背景への理解を深めようとする。	(語彙) ・人・モノ ・曜日 親族名称・職業 (文法事項) ・SVC ・否定文 ・疑問文 ・中国語圏の国、文化の紹介②③ (ワークシート・視聴覚資料等)	○	○	○	○	○		○	○	○	11
授業内考査	2で扱う新出単語・文法事項について	○	○			○		○	○		1	
2 学	3 【知識及び技能】 3で扱う新出語彙・文法事項を理解し発音できる。 【思考力、判断力、表現力等】 3で扱う会話・コミュニケーション練習において読み取り、聞き取ることができる。設定された状況に基づいて応答したり自身の考えを伝えられるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 中国語圏の国や文化について、読んだり調べたりした情報や、自分の考えと比べて文化的背景への理解を深めようとする。	(語彙) ・人物 (文法事項) ・数詞 ・疑問詞 ・中国語圏の国、文化の紹介④⑤ ⑥ (ワークシート・視聴覚資料等)	○	○	○	○	○		○	○	○	15
	授業内考査	3で扱う新出単語・文法事項について	○	○			○		○	○		1



大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：西條奈津） （2組：西條奈津） （3組：西條奈津） （4組：西條奈津） （5組：西條奈津）

使用教科書： （教科書「家基705家庭基礎 気づく力 築く未来」）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】生活の主体者として自らの生活を良くしていくための知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生活改善のために適切に情報を収集し、それを活用して判断し問題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生活を見直し、家族や周囲の人と協力しながら改善しようとする態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭、衣食住、消費や環境など、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

1 学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	第1章 これからの人生について考えてみよう 【知識及び技能】 ・各ライフステージと発達課題について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・各ライフステージの特徴について考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身の人生に置き換えて考えようとする態度を養う	①ライフステージと発達課題 ・各ライフステージの特徴まとめ ・小テスト	【知識及び技能】 ・各ライフステージと発達課題について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・各ライフステージの特徴について考えている 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分自身の人生に置き換えて考えようとしている	○	○	○	2
	第2章 自分らしい生き方と家族 【知識及び技能】 ・家族構成の変化、家族に関する法律について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族構成や家族観の変化について図表を通して考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族構成の変化や家族観の変化が自分の人生にどのように影響するか考えようとする態度を養う	①自立と共生 ②ライフキャリア ③共に生きる家族 ④家族に関する法律 ・法律クイズ（一人一台端末） ・図表の読み解き ・小テスト	【知識及び技能】 ・家族構成の変化、家族に関する法律について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・家族構成や家族観の変化について図表を通して判断できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・家族構成の変化や家族観の変化が自分の人生にどのように影響するか考えようとしている	○	○	○	8
	第3章 子どもとかわる 【知識及び技能】 ・子どもの身体的特徴や発達等について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの発達をめぐる社会的課題について図表を通して考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・子育ては社会全体であるものと捉え、関わろうとする態度を養う	①子どもとは ②子どもと発達 ③子どもの生活 ④子どもと福祉 ・映像資料 ・新聞読み解き ・小テスト ・クイズ（一人一台端末）	【知識及び技能】 ・子どもの身体的特徴や発達等について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの発達をめぐる社会的課題について図表を判断できる 【学びに向かう力、人間性等】 ・子育ては社会全体であるものと捉え、関わろうとしている	○	○	○	8
	第9章 消費行動を考える 【知識及び技能】 ・契約や現代の消費生活の課題について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題商法等について正しく資料を収集・活用し解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・消費者としての自覚を持ち、自らの消費行動と環境の関わり等について考えようとする態度を養う。	①消費行動と意思決定 ②契約と消費者問題 ③消費者の権利と責任 ④ライフスタイルと環境 ・映像資料 ・調べ学習（一人一台端末） ・小テスト	【知識及び技能】 ・契約や現代の消費生活の課題について正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題商法等について正しく資料を収集・活用し解決策を考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・消費者としての自覚を持ち、自らの消費行動と環境の関わり等について考えようとしている。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1



大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 家庭 科目 保育基礎

教科： 家庭 科目： 保育基礎 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 選択科目

教科担当者： (西條 奈津)

使用教科書： ( 保育基礎 ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ (教育図書) )

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】生活の主体者として自らの生活を良くしていくための知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】生活改善のために適切に情報を収集し、それを活用して判断し問題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生活を見直し、家族や周囲の人と協力しながら改善しようとする態度を養う。

科目 保育基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。	(3) 子どもの健やかな発達を目指して学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	1章 子どもの保育 【知識及び技能】 ・保育の重要性、家庭保育と集団保育、それぞれの意義について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・集団保育に求められることについて考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育・教育施設について関心を持ち情報収集しようとする態度を養う	①保育の意義 ②保育の環境 ③さまざまな保育施設 ・映像教材	1章 子どもの保育 【知識及び技能】 ・保育の重要性、家庭保育と集団保育、それぞれの意義について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・集団保育に求められることについて考えている 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育・教育施設について関心を持ち情報収集しようとしている	○	○	○	6
	第2章 子どもの発達 【知識及び技能】 ・子どもの発達の特性について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・保育者としての月齢に応じた働きかけの方法を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添う態度を養う	①子どもの発達の特性 ②乳幼児の発育と発達 ・映像教材	【知識及び技能】 ・子どもの発達の特性について理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・保育者としての月齢に応じた働きかけの方法を考えている 【学びに向かう力、人間性等】 ・子どもの心身の発達を促し、子どもの気持ちに寄り添って関わろうとしている	○	○	○	8
	第3章 子どもの生活 【知識及び技能】 ・乳幼児期の食生活の特徴を学び、保育に必要な技能を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活習慣の習得のために保育者としてどう関わればよいかを考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食育等に関心を持ち、情報収集する。	①子どもの養護 ②生活習慣の獲得 ③子どもの食事 ・調理実習 ・調乳実習 ・レポート	【知識及び技能】 ・乳幼児期の食生活の特徴を理解し、保育に必要な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・生活習慣の習得のために保育者としてどう関わればよいかを考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・食育等に関心を持ち、情報収集しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	第3章 子どもの生活 【知識及び技能】 ・乳幼児期の衣生活の特徴を学び、保育に必要な技能を身に付ける ・子どもの健康観察の重要性やその方法を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの特性に応じ危険から子どもを守る方法を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育者として、子どもの安全を守る立場で考える態度を養う	④子どもの衣服 ⑤子どもの健康と安全 ・おむつ替え実習 ・簡単な衣服の製作 ・沐浴実習 ・「危険なもの・場所」探し ・レポート	第3章 子どもの生活 【知識及び技能】 ・乳幼児期の衣生活の特徴を学び、保育に必要な技能を身に付ける ・子どもの健康観察の重要性やその方法を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの特性に応じ危険から子どもを守る方法を考えようとしている 【学びに向かう力、人間性等】 ・保育者として、子どもの安全を守る立場で考えようとしている				14
	第5章 子どもの文化 【知識及び技能】 ・子どもの発達における遊びの意義を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの好奇心を刺激する働きかけの方法を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 ・伝承遊び等に関心を持ち、伝えようとする態度を養う	①子どもの文化 ②子どもと遊び ・おもちゃ作り ・レポート	第5章 子どもの文化 【知識及び技能】 ・子どもの発達における遊びの意義を理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ・子どもの好奇心を刺激する働きかけの方法を考えている 【学びに向かう力、人間性等】 ・伝承遊び等に関心を持ち、伝えようとしている				13
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>第5章 子どもの文化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達における表現活動の意義を学ぶ</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの意欲を引き出す働きかけについて考察する</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現活動について関心を持ち、積極的に体験しようと尾する態度を養う</li> </ul>	<p>③子どもの表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>読み聞かせ演習</li> <li>手遊び・歌遊び演習</li> <li>造形活動演習</li> <li>レポート</li> </ul>	<p>第5章 子どもの文化</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの発達における表現活動の意義を理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの意欲を引き出す働きかけについて考えている</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>表現活動について関心を持ち、積極的に体験しようとしている</li> </ul>				8	
	<p>第4章 子どもの福祉</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童観の歴史や子どもの権利について学ぶ</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利や福祉の必要性について考察する</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者を支える方法を考えようとする態度を養う</li> </ul>	<p>①児童観の変遷</p> <p>②児童福祉の法規と制度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「子どもの権利条約を読もう」</li> <li>レポート</li> </ul>	<p>第4章 子どもの福祉</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童観の歴史や子どもの権利について理解している</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの権利や福祉の必要性について考えている</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや保護者を支える方法を考えようとしている</li> </ul>					6
	定期考査				○	○		1
							合計	
							70	



大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 ビジネス 科目 マーケティング

教科： ビジネス 科目： マーケティング 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 組～ 組

教科担当者： （ 組： 伊藤 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ マーケティング（実教出版） ）

教科 ビジネス の目標：  
 【知識及び技能】 企業における事例など実際のマーケティングと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付けている。  
 【思考力、判断力、表現力等】 マーケティングをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、マーケティングに関する課題を発見するとともに、科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。  
 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指すことで当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、企画と実施などに責任をもって取り組んでいる。

科目 マーケティング の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における事例など実際のマーケティングと関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つマーケティングに関する知識と技術を身に付けている。	マーケティングに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、顧客についての理解、市場の動向、マーケティングに関する理論、データ、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	マーケティングについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にに関わり、市場調査の実施と情報の分析、製品政策、価格政策、チャネル政策、プロモーション政策の企画と実施などに責任をもって取り組んでいる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	第1章 マーケティングの概要 【知識及び技能】 マーケティングを学ぶ意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代市場における消費者保護や環境問題、法令遵守、企業の社会的責任などの重要性について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 マーケティングの意義や一連の流れを学ぶ。	・指導事項 第1章 マーケティングの概要 1. マーケティングの歴史と発展 2. 現代の市場とマーケティング 3. マーケティング環境の分析 4. マーケティング・マネジメント ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 マーケティングを学ぶ意義を理解している。 【思考・判断・表現】 現代市場におけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代市場におけるマーケティングについて自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、マーケティングに主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第2章 消費者行動の理解 【知識及び技能】 マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 消費者の心理や購買意思決定までの過程、消費者行動に影響を与える要因について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 消費者行動について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第2章 消費者行動の理解 1. 消費者の心理と行動の関係 2. 購買意思決定過程 3. 消費者行動に影響を与える要因 ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 マーケティング計画の立案に必要な消費者行動について理解している。 【思考・判断・表現】 購買意思決定までの過程について、消費者の心理と消費者行動に影響を与える要因を関連付けて見いだすことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 消費者行動の理解について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1	
2 学期	第3章 市場調査 【知識及び技能】 市場調査について理解し、関連する技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 市場調査に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づく調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を科学的に分析する。 【学びに向かう力、人間性等】 市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に積極的に取り組む。	・指導事項 第3章 市場調査 1. 市場調査の概要 2. 市場調査の手順 3. 仮説検証の手順 4. 実態調査の方法 ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 市場調査について企業における事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 市場調査に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、調査計画を立案して実施し、評価・改善するとともに、市場調査で得られた情報を科学的に分析することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 市場調査について自ら学び、マーケティングに必要な情報の収集と分析に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1
	第4章 STP 第5章 製品政策 第6章 価格政策 第7章 チャネル政策 【知識及び技能】 STP分析を理解し、関連する技術を学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 製品政策について企業における事例と関連付けて理解する。 製品政策に関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、製品政策を立案して実施し、評価・改善する。 【学びに向かう力、人間性等】 チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解する。	・指導事項 第4章 STP 1. セグメンテーション 2. ターゲティング 3. ポジショニング 第5章 製品政策 1. 製品政策の概要 2. 新製品開発 3. 販売計画と生産計画 4. 製品政策の動向 第6章 価格政策 1. 価格政策の概要 2. 価格の設定方法 3. 価格政策の動向 第7章 チャネル政策 1. チャネル政策の概要 2. チャネルの選択と管理 3. チャネル政策の動向 ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 STP分析について企業における事例と関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 製品政策について企業における事例と関連付けて理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 チャネル政策について企業における事例と関連付けて理解している。	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

3 学 期	第8章 プロモーション政策 第9章 マーケティングのひろがり <b>【知識及び技能】</b> プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解する。 <b>【思考力、判断力、表現力等】</b> マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて理解する。 <b>【学びに向かう力、人間性等】</b> マーケティングの広がりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第8章 プロモーション政策 1. プロモーション政策の概要 2. プロモーションの種類 3. プロモーション政策の動向 第9章 マーケティングのひろがり 1. さまざまなマーケティング戦略 2. サービス・マーケティング 3. 小売マーケティング 4. 観光地マーケティング 5. グローバル・マーケティング 6. ソーシャル・マーケティング ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用 等	<b>【知識・技能】</b> プロモーション政策について企業における事例と関連付けて理解している。 <b>【思考・判断・表現】</b> マーケティングの広がりについて企業における事例と関連付けて理解している。 <b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> マーケティングの広がりについて自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画 様式例

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 ビジネス 科目 商品開発と流通

教科： ビジネス 科目： 商品開発と流通 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1・2組： 渡辺孝慈） （3・4組： 渡辺孝慈） （5組： 渡辺孝慈）

使用教科書： （ 実教出版『商品開発と流通』 ）

教科 ビジネス の目標：

【知識及び技能】商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】商品開発と流通に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、商品開発と流通に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。

科目 商品開発と流通 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
商品開発と流通について実務に即して体系的・系統的に理解し、商品の企画からプロモーションまでの様々な場面で役に立つ商品開発に関する知識と、流通の立場から提案した取引対象としての商品に関する知識を身に付けている。	商品開発と流通をはじめとした様々な知識や情報などを活用し、商品開発と流通の動向や課題を発見するとともに、ビジネスに関わる様々な立場に立って、妥当性と課題などの視点から、科学的な根拠に基づいて商品開発と流通に関する計画を立案したり、提案したりしている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら商品開発と流通について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、商品開発と流通に関する学習活動に責任をもって取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当数
商品開発と流通の概要 【知識及び技能】 「なぜ商品開発と流通は行われるのか」を知る 【思考力、判断力、表現力等】 「商品」とな何か、「技術革新と商品」「商品の分類」について説明することができる 【学びに向かう力、人間性等】 「商品」について、その成り立ちについて興味をもつことができる。	・1章 商品開発と流通の概要 1 私たちの生活と商品 2 商品開発の意義と手順 3 商品と流通との関わり ・教科書 ・自作プリント「商品開発ノート」	【知識・技能】 「商品」（有形財、無形財）、企業の資産と第5の資産としての「ブランド」を理解している。 【思考・判断・表現】 「消費者にとっての商品」と「企業にとっての商品」について説明できる。 「商品の分類」：商品を分類し、その具体例を挙げることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「商品」について興味をもっている。				
事例研究 【知識及び技能】 「成熟期」のシャープペンシル市場の現状と商品開発を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 同市場拡大の要因について説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 シャープペンシルのヒット商品に関する商品開発に興味をもつことができる。	事例研究 ・自作プリント「商品研究ノート」	【知識・技能】 少子化、デジタル化、ペーパーレス化が進む中で、なぜシャープペンシル市場が拡大傾向なのかを知る。 【思考・判断・表現】 データ上、シャープペンシル市場では「売上数量」は減少傾向なのに「売上単価」は増加傾向にある減少について考察し、説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 「シャープペンシル市場」の上記傾向について、グループ内で意見交換し、協力して結論に結びつける態度。	○	○	○	20
定期考査（中間考査）			○	○		1
商品の企画 【知識及び技能】 商品開発の内容や方向性を具体化する商品の企画について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 企業の事例を取り上げて、身近な例を題材にして思考させる。 【学びに向かう力、人間性等】 商品コンセプトを考察し、具体的に商品企画書の各項目をまとめる。	2章 商品の企画 1 環境分析と意思決定の準備 2 市場調査 3 商品コンセプトの策定 4 商品企画の提案 ・教科書 ・自作プリント「商品開発ノート」	【知識・技能】 「マクロ分析」「ミクロ分析」「商品ライフサイクル」「STP」について理解している。 【思考・判断・表現】 市場調査から商品の企画に関する課題を発見し、アイデアの創出が行えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 商品の企画について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、商品の企画に主体的かつ協動的に取り組んでいる。				
事例研究 【知識及び技能】 シニア層をターゲットにしたカップヌードル『カップヌードルリッチ』（日清食品）商品開発を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 「一括りにできないシニア層」を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ロングセラーブランドに関する商品開発に興味をもつことができる。	事例研究 ・自作プリント「商品研究ノート」	【知識・技能】 多様化するシニア層の中心層である「アクティブシニア」について理解している。 【思考・判断・表現】 「アクティブシニア」には通常の『カップヌードル』よりもフランク上のものが響くという結論に至るまでを考察し、その確信と併せて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 シニア層と対極にあるZ世代に向けた新商品について意見交換できる。	○	○	○	10
定期考査（期末考査）			○	○		1
事業計画の立案 【知識及び技能】 商品開発と流通における事業計画について、その目的や手順について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 事業計画書を作成し、作成した事業計画書を基にプレゼンを行い、評価、改善を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協動的に作成させる。	3章 事業計画の立案 1 事業計画の概要 2 価格計画 3 流通計画 4 プロモーション計画 5 事業計画書の作成 ・教科書 ・自作プリント「商品開発ノート」	【知識・技能】 事業計画の目的に合わせて、一連の流れを理解している。価格の設定方法を理解している。 【思考・判断・表現】 科学的な根拠に基づいて事業の展開に必要な項目をまとめ、事業計画書を立案できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 事業計画の各項目について自ら学び、経済や消費者の動向などを踏まえ、事業計画書を主体的かつ協動的に作成している。				25
事例研究 【知識及び技能】 水性ジェルインクボールペン『サラサドライ』（ゼブラ）の商品開発を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 「左利き」が市場開拓のカギになる可能性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 国内のボールペン市場と商品開発に興味を持つことができる。	事例研究 ・自作プリント「商品研究ノート」	【知識・技能】 国内ボールペン市場と水性ジェルインクボールペンの可能性について理解している。 【思考・判断・表現】 国内で先行する『サラサ』のブランド力と「サラサドライ」のターゲット設定について説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 発売された同商品が「左利き」の人たちから高く評価される理由について意見交換し、自分の考えを述べるることができる。	○	○	○	15
定期考査（期末考査）			○	○		1
商品の開発 【知識及び技能】 商品仕様と詳細設計について、企業における事例と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 商品デザインの技法について、具体的な事例と関連付けて分析する。 【学びに向かう力、人間性等】 偽ブランドや偽キャラクター商品等の知的財産権の侵害について、興味を持つことができる。	4章 商品の開発 1 商品仕様と詳細設計 2 プロトタイプ 3 商品とデザイン ・教科書 ・自作プリント「商品開発ノート」	【知識・技能】 知的財産権の侵害について、科学的な根拠に基づいて、具体的な事例について分析、考察ができる。 【思考・判断・表現】 市場調査の実例から商品の企画に関する課題を発見する。 【主体的に学習に取り組む態度】 知的財産権の侵害について、意見交換し、自分の考えを述べるることができる。				
事例研究 【知識及び技能】 ロングセラー商品「ねるねるね」(クラシエフーズ)の商品開発を知る。 【思考力、判断力、表現力等】 同商品(知育菓子)から派生し誕生した服薬補助食品と先行する競合商品について比較、考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 同商品の改良、ターゲット層を変えた新商品の開発について興味を持つことができる。	事例研究 ・自作プリント「商品研究ノート」	【知識・技能】 知育菓子の独自性と現在に至る商品改良についてその狙い、目的を理解している。 【思考・判断・表現】 同商品の「味の改良」の背景と、「大人層」をターゲットにした新商品の開発についてその狙いを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 同商品の「家ナカ需要」「インバウンド需要」について意見交換し、自分の意見を述べるることができる。				30
定期考査（学年末考査）			○	○		1
						合計
						105

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 ビジネス 科目 グローバル経済

教科： ビジネス 科目： グローバル経済 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 組～ 組

教科担当者： （ 1 組：伊藤 （ 4 組：伊藤 （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書： （ グローバル経済（実教出版） ）

教科 ビジネス の目標：

- 【知識及び技能】 企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、経済に関する知識を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 経済のグローバル化の様々な知識などを活用し、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしている。

科目 グローバル経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。	経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、経済社会の動向、経済に関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	自ら経済について学ぶ態度及び当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 グローバル化が進展する社会 【知識及び技能】 グローバル化と国際化の違いについて理解し、グローバル化する現在の社会について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 金融、企業、社会の多様性とグローバル化の関連について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 グローバル化による問題点について考え、対応方法について検討する。	・指導事項 第1章 グローバル化が進展する社会 ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、経済に関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら経済について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	第2章 経営のグローバル化 【知識及び技能】 多国籍企業のグローバル経営について理解し、企業がグローバル化する理由について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 企業が海外進出するにあたっての方法や難しさなどを学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 マザー工場システムや海外拠点の役割について理解し、グローバル化の問題点について学ぶ。	・指導事項 第2章 経営のグローバル化 ・教材：教科書 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 企業における経済のグローバル化への対応など実務と関連付けられ、ビジネスの様々な場面で役に立つ経済に関する知識を身に付けている。 【思考・判断・表現】 経済のグローバル化をはじめとした様々な知識などを活用し、企業における経済のグローバル化への対応に関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、経済社会の動向、経済に関する理論やデータ、ビジネスに関する成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら経済について学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、経済社会の動向を踏まえて経済のグローバル化に対応したビジネスの展開に責任をもって取り組もうとしている。	○	○	○	10
定期考査				○	○		1



年間授業計画

大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科

ビジネス 科目 財務会計Ⅰ（選択A・選択B）

教科： ビジネス 科目： 財務会計Ⅰ（選択A・選択B）

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 2 学年 3 組 選択者

教科担当者： （高石みどり）

使用教科書： （新財務会計Ⅰ 実教出版）

教科 ビジネス の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 財務会計Ⅰ（選択A・選択B） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに、会計的側面から企業を分析する力を養う。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 企業と会計</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計の意味や機能について正しく理解する。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計基準がなぜ必要か説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務会計の役割について、自ら進んで実際の事例を調べる。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>第1章 企業と会計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計の意味や機能について正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計基準がなぜ必要か説明できるか。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財務会計の役割について、自ら進んで実際の事例を調べようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>第2章 企業会計制度と会計法規</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計法規の種類や目的について、どのようなものか正しく理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計法規の役割を説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業会計原則の適用例について、自ら進んで実際の事例から調べる。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>第2章 企業会計制度と会計法規</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計法規の種類や目的について、どのようなものか正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計法規の役割を説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業会計原則の適用例について、自ら進んで実際の事例から調べようとしているか。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>第3章 貸借対照表のあらまし</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の役割と区分・様式について、正しく理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分はなぜ必要か説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分について、自ら進んで学習する。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>第3章 貸借対照表のあらまし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の役割と区分・様式について、正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分はなぜ必要か説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分について、自ら進んで学習する態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>第4章 資産の意味・分類・評価</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の役割と区分・様式について、正しく理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分はなぜ必要か説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分について、自ら進んで学習する。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>第4章 資産の意味・分類・評価第</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の役割と区分・様式について、正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分はなぜ必要か説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸借対照表の区分について、自ら進んで学習する態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>第5章 流動資産PART1 当座資産第2章 企業会計制度と会計法規</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当座資産の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> <li>・ 銀行勘定調整表の意味を理解し、作成することができる。</li> <li>・ 当座資産の期末評価について正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当座資産とはどのようなものか説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・ 指導事項</p> <p>第5章 流動資産PART1 当座資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>・ 一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当座資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>・ 銀行勘定調整表の意味を理解し、作成することができるか。</li> <li>・ 当座資産の期末評価について正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 当座資産とはどのようなものか説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	6

1 学 期	<p>第6章 流動資産PART2 棚卸資産・その他の流動資産</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棚卸資産とその他の流動資産の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> <li>・棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法を正しく理解している。</li> <li>・売価還元法の計算方法を正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棚卸資産の期末評価の種類と方法について、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第6章 流動資産PART2 棚卸資産・その他の流動資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>・教科書、問題集、プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棚卸資産とその他の流動資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>・棚卸資産の払出価額と期末棚卸高の計算方法を正しく理解しているか。</li> <li>・売価還元法の計算方法を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・棚卸資産の期末評価の種類と方法について、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>第7章 固定資産PART1 有形固定資産</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> <li>・有形固定資産の取得原価と費用配分の原則について正しく理解している。</li> <li>・資本的支出と収益的支出を理解し、適切な会計処理ができる。</li> <li>・リース取引の概略について説明できる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減価償却を行う理由と、計算方法の違いについて説明できる。</li> <li>・リース取引の概略について説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第7章 固定資産PART1 有形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>・教科書、問題集、プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有形固定資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>・有形固定資産の取得原価と費用配分の原則について正しく理解しているか。</li> <li>・資本的支出と収益的支出を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>・リース取引の概略について説明できるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減価償却を行う理由と、計算方法の違いについて説明できるか。</li> <li>・リース取引の概略について説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	9
	<p>第8章 固定資産PART2 無形固定資産</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無形固定資産の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無形固定資産とはどのようなものか説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第8章 固定資産PART2 無形固定資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>・教科書、問題集、プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無形固定資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・無形固定資産とはどのようなものか説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	9
	<p>第9章 固定資産PART3 投資その他の資産</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資その他の資産の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資その他の資産の期末評価の方法について説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第9章 固定資産PART3 投資その他の資産</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>・教科書、問題集、プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資その他の資産の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・投資その他の資産の期末評価の方法について説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>第10章 負債の意味と分類</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負債とはどのようなものか正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負債の分類の仕方について、営業循環基準と1年基準を用いて説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負債の分類の仕方について、営業循環基準と1年基準を用いて説明できるか。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第10章 負債の意味と分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>・教科書、問題集、プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負債とはどのようなものか正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負債の分類の仕方について、営業循環基準と1年基準を用いて説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・負債の分類の仕方について、営業循環基準と1年基準を用いて説明できるか。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>第11章 流動負債</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流動負債の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未払金と未払費用、前受金と前受収益の違いを説明できるか。</li> <li>・引当金の性質と種類について説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第11章 流動負債</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>・教科書、問題集、プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・流動負債の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未払金と未払費用、前受金と前受収益の違いを説明できるか。</li> <li>・引当金の性質と種類について説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4

<p>第12章 固定負債</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定負債の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定負債がどのようなものか説明できる。</li> <li>長期借入金とリース債務の表示区分について、正確な判断ができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第12章 固定負債</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定負債の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>固定負債がどのようなものか説明できるか。</li> <li>長期借入金とリース債務の表示区分について、正確な判断ができるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第13章 純資産の意味と分類</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>純資産とはどのようなものか、正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>純資産の分類について説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>純資産の分類について、そのあらましを自ら進んで学習する。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第13章 純資産の意味と分類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>純資産とはどのようなものか、正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>純資産の分類について説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>純資産の分類について、そのあらましを自ら進んで学習する態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>第14章 資本金</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本金の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本金の増加・減少とはどのようなものか、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第14章 資本金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本金の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本金の増加・減少とはどのようなものか、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	2
<p>第15章 資本剰余金</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本剰余金の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本剰余金の増加・減少とはどのようなものか、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第15章 資本剰余金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本剰余金の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>資本剰余金の増加・減少とはどのようなものか、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>第16章 利益剰余金</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利益剰余金の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利益剰余金の配当の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> <li>繰越利益剰余金の増加・減少について、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第16章 利益剰余金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利益剰余金の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利益剰余金の配当の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>繰越利益剰余金の増加・減少について、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	5
<p>第17章 自己株式</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己株式の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己株式とはどのようなものか、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第17章 自己株式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己株式の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自己株式とはどのようなものか、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	5
<p>第18章 新株予約権</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新株予約権の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新株予約権とはどのようなものか、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第18章 新株予約権</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新株予約権の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新株予約権とはどのようなものか、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで貸借対照表の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	5

<p>第19章 貸借対照表の作成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告式の貸借対照表の作成方法について、正しく理解している。</li> <li>貸借対照表に関する注記を正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸借対照表を作成するために必要な原則について、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2編で学んだことを活かし、自ら進んで貸借対照表の作成問題に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第19章 貸借対照表の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>報告式の貸借対照表の作成方法について、正しく理解しているか。</li> <li>貸借対照表に関する注記を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>貸借対照表を作成するために必要な原則について、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第2編で学んだことを活かし、自ら進んで貸借対照表の作成問題に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第20章 損益計算書のあらまし</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算書の役割と区分・様式を正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算書の区分はなぜ必要か、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算書の区分について、自ら進んで学習する。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第20章 損益計算書のあらまし</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算書の役割と区分・様式を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算書の区分はなぜ必要か、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算書の区分について、自ら進んで学習する態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>第21章 損益計算の意味と基準</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算の意味と基準について、正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収益・費用の認識基準について、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算の意味と基準について、自ら進んで学習する。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第21章 損益計算の意味と基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算の意味と基準について、正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>収益・費用の認識基準について、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>損益計算の意味と基準について、自ら進んで学習する態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	3
<p>第22章 売上高</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上高の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> <li>工事収益の計上基準と計算方法について、正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷基準・引渡基準・検収基準の違いについて説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第22章 売上高</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上高の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> <li>工事収益の計上基準と計算方法について、正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>出荷基準・引渡基準・検収基準の違いについて説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	3
<p>第23章 売上原価、販売費及び一般管理費</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上原価と販売費及び一般管理費の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上原価と販売費及び一般管理費の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第23章 売上原価、販売費及び一般管理費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上原価と販売費及び一般管理費の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>売上原価と販売費及び一般管理費の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>第24章 営業外費用・営業外収益</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業外収益と営業外費用の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業外収益と営業外費用にはどのようなものがあるか、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第24章 営業外費用・営業外収益</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教材</li> <li>教科書、問題集、プリント</li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業外収益と営業外費用の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>営業外収益と営業外費用にはどのようなものがあるか、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	3

<p>第25章 特別利益・特別損失</p> <p>【知識及び技能】 ・特別利益と特別損失の意味を理解し、適切な会計処理ができる。 ・当期純利益の概念を正しく理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・特別利益と特別損失にはどのようなものがあるか、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組もうとしている。</p>	<p>・指導事項 第25章 特別利益・特別損失 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・特別利益と特別損失の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。 ・当期純利益の概念を正しく理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・特別利益と特別損失にはどのようなものがあるか、説明できるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本章で学んだ内容を活かし、自ら進んで損益計算書の作成に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	3
<p>第26章 損益計算書の作成</p> <p>【知識及び技能】 ・報告式の損益計算書の作成方法について、正しく理解している。 ・損益計算書に関する注記を正しく理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・損益計算書を作成するために必要な原則について、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本章で学んだことを活かし、自ら進んで損益計算書の作成問題に取り組む。</p>	<p>・指導事項 第26章 損益計算書の作成 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・報告式の損益計算書の作成方法について、正しく理解しているか。 ・損益計算書に関する注記を正しく理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・損益計算書を作成するために必要な原則について、説明できるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本章で学んだことを活かし、自ら進んで損益計算書の作成問題に取り組もうとしているか。</p>	○	○	○	3
<p>第27章 その他の財務諸表</p> <p>【知識及び技能】 ・株主資本等変動計算書の意味を理解し、その作成ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・貸借対照表と損益計算書以外の財務諸表がなぜ必要か、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・実際の貸借対照表と損益計算書以外の財務諸表を入手し、どのようなことが記載されているか、自ら進んで調べる。</p>	<p>・指導事項 第27章 その他の財務諸表 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・株主資本等変動計算書の意味を理解し、その作成ができるか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・貸借対照表と損益計算書以外の財務諸表がなぜ必要か、説明できるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・実際の貸借対照表と損益計算書以外の財務諸表を入手し、どのようなことが記載されているか、自ら進んで調べる態度を示しているか。</p>	○	○	○	3
<p>第28章 役務収益・役務原価</p> <p>【知識及び技能】 ・役務収益と役務原価の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・商品の販売とサービスの提供では、会計処理にどのような違いがあるか、説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・身近なサービス業の企業を調べ、どのようなサービスを提供し、どのように会計処理を行っているかに興味を持ち、自ら進んで調べる態度を示している。</p>	<p>・指導事項 第28章 役務収益・役務原価 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・役務収益と役務原価の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・商品の販売とサービスの提供では、会計処理にどのような違いがあるか、説明できるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・身近なサービス業の企業を調べ、どのようなサービスを提供し、どのように会計処理を行っているかに興味を持ち、自ら進んで調べる態度を示しているか。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第29章 外貨建取引</p> <p>【知識及び技能】 ・外貨建取引の意味を理解し、適切な会計処理ができる。 ・円換算の意味を正しく理解している。</p> <p>・為替予約について、正しく理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・為替差損益の発生理由について説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習から、円安・円高の影響が実際の企業の業績にどのような影響を与えるかに興味を持ち、自ら進んで調べる態度を示している。</p>	<p>・指導事項 第29章 外貨建取引 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・外貨建取引の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</p> <p>・円換算の意味を正しく理解しているか。 ・為替予約について、正しく理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・為替差損益の発生理由について説明できるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習から、円安・円高の影響が実際の企業の業績にどのような影響を与えるかに興味を持ち、自ら進んで調べる態度を示しているか。</p>	○	○	○	3
<p>第30章 税効果会計</p> <p>【知識及び技能】 ・税効果会計の意味を理解し、適切な会計処理ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・税効果会計が当期純利益に与える影響と、その理由を説明できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・企業会計上の収益・費用と課税所得計算上の益金・損金に興味を持ち、自ら進んでその違いを調べる。 ・税効果会計に興味を持ち、さらに進んだ会計処理について自ら進んで学習する。</p>	<p>・指導事項 第30章 税効果会計 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】 ・税効果会計の意味を理解し、適切な会計処理ができるか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・税効果会計が当期純利益に与える影響と、その理由を説明できるか。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・企業会計上の収益・費用と課税所得計算上の益金・損金に興味を持ち、自ら進んでその違いを調べる態度を示しているか。 ・税効果会計に興味を持ち、さらに進んだ会計処理について自ら進んで学習する態度を示しているか。</p>	○	○	○	3

3 学 期	<p>第31章 財務諸表のディスクロージャー</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャーとはどのようなものか正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャーがなぜ必要か、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に企業がどのようにディスクロージャーを行っているか興味を持ち、自ら進んで調べる態度を示しているか。</li> </ul>	<p>・指導事項 第31章 財務諸表のディスクロージャー</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャーとはどのようなものか正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ディスクロージャーがなぜ必要か、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に企業がどのようにディスクロージャーを行っているか興味を持ち、自ら進んで調べる態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	3
	<p>第32章 財務諸表分析</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表分析の意味と方法について、正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表分析の方法と種類について、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表分析に興味を持ち、自ら進んで実際の企業の財務諸表を入手し、財務諸表分析を行う。</li> </ul>	<p>・指導事項 第32章 財務諸表分析</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表分析の意味と方法について、正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表分析の方法と種類について、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表分析に興味を持ち、自ら進んで実際の企業の財務諸表を入手し、財務諸表分析を行う態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	3
	<p>第33章 連結財務諸表のあらまし</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表とはどのようなものか正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親会社と子会社の意味を正しく理解している。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表に興味を持ち、自ら進んで連結財務諸表を作成している企業を調べる態度を示している。</li> </ul>	<p>・指導事項 第33章 連結財務諸表のあらまし</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表とはどのようなものか正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親会社と子会社の意味を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表がなぜ必要か、説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表に興味を持ち、自ら進んで連結財務諸表を作成している企業を調べる態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	3
	<p>第34章 連結財務諸表の作成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表の作成方法を正しく理解している。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始仕訳や連結修正仕訳がなぜ必要か説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで連結財務諸表の作成問題に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項 第34章 連結財務諸表の作成</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結財務諸表の作成方法を正しく理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始仕訳や連結修正仕訳を行うことができるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連結精算表を作成できるか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始仕訳や連結修正仕訳がなぜ必要か説明できるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら進んで連結財務諸表の作成問題に取り組む態度を示しているか。</li> </ul>	○	○	○	3
定期考査							1
							合計
							140

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

ビジネス 科目 原価計算（ビジネス選択）

教科： ビジネス 科目： 原価計算（ビジネス選択）

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 組～ 組

教科担当者： （ 高石 みどり

使用教科書： （ 原価計算 実教

教科 ビジネス の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 原価計算（ビジネス選択） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 原価と原価計算 【知識及び技能】 ・製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、その知識・技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 第1章 原価と原価計算 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、その知識・技術を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製造業の特徴や原価の意味、原価の基本的な内容について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。	○	○	○	2
	第2章 原価計算のあらまし 【知識及び技能】 ・原価要素の性格とその分類、原価要素を集計する過程における原価計算表の役割について、その知識・技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製造直接費と製造間接費の区別は、なぜ必要か、製造指図書番号の役割は何か、製造活動を記録するためには、どのような勘定が必要かなどについて、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 第2章 原価計算のあらまし ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・原価要素の性格とその分類、原価要素を集計する過程における原価計算表の役割について、その知識・技術を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製造直接費と製造間接費の区別は、なぜ必要か、製造指図書番号の役割は何か、製造活動を記録するためには、どのような勘定が必要かなどについて、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。	○	○	○	5
	第3章 工業簿記-製造業における簿記- 【知識及び技能】 ・原価計算と工業簿記の関連、原価計算表、仕訳、勘定記入等について、その基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製造直接費と製造間接費の区別の必要性や、製造活動に関わる勘定の特性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 第3章 工業簿記-製造業における簿記- ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・原価計算と工業簿記の関連、原価計算表、仕訳、勘定記入等について、その基礎的・基本的な知識・技術を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製造直接費と製造間接費の区別の必要性や、製造活動に関わる勘定の特性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	第4章 材料費の計算 【知識及び技能】 ・材料費の分類、材料費の計算および仕訳や勘定記入など材料費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・なぜ、予定価格を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。	・指導事項 第4章 材料費の計算 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	第4章 材料費の計算 【知識及び技能】 ・材料費の分類、材料費の計算および仕訳や勘定記入など材料費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・なぜ、予定価格を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。	○	○	○	7

<p>第5章 労務費の計算</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労務費の分類、労務費の計算および仕訳や勘定記入など労務費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、予定賃率を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第5章 労務費の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・労務費の分類、労務費の計算および仕訳や勘定記入など労務費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、予定賃率を用いるのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>第6章 経費の計算</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の分類、経費の計算および仕訳や勘定記入など経費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の消費高の計算において、なぜ3分類するのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第6章 経費の計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の分類、経費の計算および仕訳や勘定記入など経費の記帳に関する基礎的・基本的な知識・技術を身に付けているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費の消費高の計算において、なぜ3分類するのか、合理的な記帳法はどのようなものかなどについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第7章 個別原価計算</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、製造間接費の予定配賦および差異の処理について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、製造間接費は予定配賦するのかについて考え、具体的に表現する仕方を身に付ける。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算を行うための一連の手続きに関心を持ち、製造指図書への賦課や製造間接費の処理の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第7章 個別原価計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、製造間接費の予定配賦および差異の処理について理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、製造間接費は予定配賦するのかについて考え、具体的に表現する仕方を身に付けているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算を行うための一連の手続きに関心を持ち、製造指図書への賦課や製造間接費の処理の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	10
<p>第8章 部門別個別原価計算</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、部門費配分に関する二つの方法の特徴について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、部門別計算を行うのかについて思考・判断し、直接配賦法と相互配賦法それぞれの処理を表現することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別個別原価計算の学習に関心を持ち、製造間接費を部門ごとの予定賦課・集計・差異の処理を、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第8章 部門別個別原価計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、部門費配分に関する二つの方法の特徴について理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、部門別計算を行うのかについて思考・判断し、直接配賦法と相互配賦法それぞれの処理を表現することができるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別個別原価計算の学習に関心を持ち、製造間接費を部門ごとの予定賦課・集計・差異の処理を、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第9章 総合原価計算</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算と総合原価計算はどう違うのか、等価係数とは何かについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合原価計算の学習に関心を持ち、各種原価計算の処理を、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第9章 総合原価計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別個別原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、部門費配分に関する二つの方法の特徴について理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、部門別計算を行うのかについて思考・判断し、直接配賦法と相互配賦法それぞれの処理を表現することができるか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門別個別原価計算の学習に関心を持ち、製造間接費を部門ごとの予定賦課・集計・差異の処理を、自ら学び主体的かつ協働的に取り組もうとしているか。</li> </ul>	○	○	○	10

<p>第10章 工程別総合原価計算</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工程別総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、工程別計算を行うのかについて考え、適切に判断して学習を進める。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第10章 工程別総合原価計算</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工程別総合原価計算に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。また、各種原価計算の方法の特徴について理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、工程別計算を行うのかについて考え、適切に判断して学習を進めているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減損の意味と、それが発生した場合の処理方法について理解し、月末仕掛品原価の計算ができる。また、副産物、作業くず、仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合原価計算における減損・仕損じなどはどのように処理するのかについて考え、適切に判断して学習を進める。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第11章 総合原価計算における減損・仕損じなどの処理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減損の意味と、それが発生した場合の処理方法について理解し、月末仕掛品原価の計算ができる。また、副産物、作業くず、仕損品の意味と、それぞれが発生した場合の記帳方法について理解しているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総合原価計算における減損・仕損じなどはどのように処理するのかについて考え、適切に判断して学習を進めているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。</li> </ul>	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第12章 製品の完成と販売</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の完成と販売および決算に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算と総合原価計算の計算体系の違いをもとに、完成時の手続きや処理法について考える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の完成時および販売時の手続きや処理法について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第12章 製品の完成と販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の完成と販売および決算に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別原価計算と総合原価計算の計算体系の違いをもとに、完成時の手続きや処理法について考えているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の完成時および販売時の手続きや処理法について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとするか。</li> </ul>	○	○	○	6
<p>第13章 決算と本社・工場間の取引</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の決算の特徴について理解している。また、本社工場間の取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考える。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の決算の特徴、本社工場間の取引の記帳について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組む。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第13章 決算と本社・工場間の取引</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の決算の特徴について理解している。また、本社工場間の取引に関する基礎的・基本的な知識を身に付けているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の決算の特徴を商品売買業の決算と比較して考えたり、本社工場間の取引の記帳を本支店間の取引と比較して考えているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業の決算の特徴、本社工場間の取引の記帳について関心を持ち、自分から進んでまとめたり、問題演習に取り組もうとするか。</li> </ul>	○	○	○	5
<p>第14章 標準原価計算（その1）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価管理を行う意義と標準原価計算の特色について理解し、標準原価の基礎的・基本的な知識と計算技術を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際原価計算の限界や、標準原価計算の原価管理における有用性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第14章 標準原価計算（その1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価管理を行う意義と標準原価計算の特色について理解し、標準原価の基礎的・基本的な知識と計算技術を身に付けているか。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際原価計算の限界や、標準原価計算の原価管理における有用性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けているか。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けているか。</li> </ul>	○	○	○	5

3 学 期	<p>第15章 標準原価計算（その2）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価差異の計算技術を身に付けるとともに、それぞれの差異の意味について理解している。また、標準原価計算における記帳方法を身に付ける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価差異について分析し、その原因や改善点について思考・判断することができる。シングル・プランとパーシャル・プランの違いについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付ける。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付ける。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第15章 標準原価計算（その2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価差異の計算技術を身に付けるとともに、それぞれの差異の意味について理解している。また、標準原価計算における記帳方法を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原価差異について分析し、その原因や改善点について思考・判断することができる。シングル・プランとパーシャル・プランの違いについて思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</li> </ul>	○	○	○	5
	<p>第16章 直接原価計算（その1）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益計画を行う意義と直接原価計算の特色について理解し、直接原価計算による損益計算書の基礎的・基本的な知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全部原価計算の限界や、直接原価計算の利益計画における有用性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第16章 直接原価計算（その1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益計画を行う意義と直接原価計算の特色について理解し、直接原価計算による損益計算書の基礎的・基本的な知識を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全部原価計算の限界や、直接原価計算の利益計画における有用性について思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</li> </ul>	○	○	○	4
	<p>第17章 直接原価計算（その2）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CVP分析や損益分岐売上高などの計算について、その知識・技術を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損益分岐図表の意味や利益計画、サービス業におけるCVP分析について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>第17章 直接原価計算（その2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材</li> <li>教科書・問題集・プリント</li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・CVP分析や損益分岐売上高などの計算について、その知識・技術を身に付けている。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・損益分岐図表の意味や利益計画、サービス業におけるCVP分析について、思考・判断し、それを表現する仕方を身に付けている。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本章の学習にあたって、自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</li> </ul>	○	○	○	3
	定期考査				○	○	
							合計
							105

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 ビジネス 科目 ソフトウェア活用

教科： ビジネス 科目： ソフトウェア活用 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 2 組 選択者

教科担当者： 工藤 大観

使用教科書：（ソフトウェア活用(実教出版 商業736)・全商情報処理検定模擬問題集ビジネス情報1級(実教)

教科 ビジネス の目標：

- 【知識及び技能】企業活動でのソフトウェアの活用について、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を習得できる。
- 【思考力、判断力、表現力等】業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決できる。
- 【学びに向かう力、人間性等】企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、ソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

科目 ソフトウェア活用 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。	企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 企業活動とソフトウェア活用 【知識及び技能】 企業活動において、どのような目的でソフトウェアが活用されているのか理解するとともに、その技術の仕組みを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ソフトウェアを活用することで、企業活動にどのような変化をもたらすことができるかを思考するとともに、課題を発見できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ソフトウェアの活用方法について、積極的に考える取組ができる。	1章 企業活動とソフトウェア活用 1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用 1章 企業活動とソフトウェア活用 1節 ビジネスにおけるソフトウェアの活用 2節 ビジネスにおけるソフトウェアの進化 ・教材	【知識・技能】 企業活動において、どのような目的でソフトウェアが活用されているのか理解できたとともに、その技術の仕組みも習得することができた。 【思考・判断・表現】 ソフトウェアを活用することで、企業活動にどのような変化をもたらすことができるかを思考でき、課題も発見できた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ソフトウェアの活用方法について、積極的に考える取組ができる。	○	○	○	10
	B 情報通信ネットワークの活用 【知識及び技能】 ネットワークの導入や運用について理解するとともに、管理や保護の仕組みを習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 情報資産の保護に関して、必要性やリスク、情報流失による影響を思考し、適切な対応や解決策を提示できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ネットワークや情報資産の保護について、積極的に考える取組ができる。	2章 情報通信ネットワークの活用 1節 情報通信ネットワークの導入と運用 2節 情報資産の保護 ・教材	【知識・技能】 ネットワークの導入や運用について理解でき、管理や保護の仕組みも習得できた。 【思考・判断・表現】 情報資産の保護に関して、必要性やリスク、情報流失による影響を思考したうえで、適切な対応や解決策を提示することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 ネットワークや情報資産の保護について、積極的に考える取組ができた。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
2 学期	C 表計算ソフトウェアの活用 【知識及び技能】 表計算ソフトウェアを利用した集計や分析、自動化などの活用方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向け、適切やデータ処理やリサーチを選択し、解決に向けた一連の流れを説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、積極的に考える取組ができる。	3章 表計算ソフトウェアの活用 1節 表計算ソフトウェアを用いた情報の集計と分析 2節 表計算ソフトウェアを用いたオペレーションズ・リサーチ 3節 手続きの自動化 ・教材	【知識・技能】 表計算ソフトウェアを利用した集計や分析、自動化などの活用方法を司会できた。 【思考・判断・表現】 課題の解決に向け、適切やデータ処理やリサーチを選択することができ、解決に向けた一連の流れを説明することができた。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題の解決に向け、積極的に考える取組ができた。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		1
	D データベースソフトウェアの活用 【知識及び技能】 データベースソフトを利用して、フォームやレポートの作成ができるとともに、自動化や構造の仕組みを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けて必要となる、データベースの構造やリレーションシップ、正規化などを自ら考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、積極的に考える取組ができる。	4章 データベースソフトウェアの活用 1節 ビジネスとデータベース 2節 データベースの作成と操作 3節 手続きの自動化 4節 データベースの構造	【知識及び技能】 データベースソフトを利用して、フォームやレポートの作成ができ、自動化や構造の仕組みを理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 課題の解決に向けて必要となる、データベースの構造やリレーションシップ、正規化などを自ら考えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 課題の解決に向け、積極的に考える取組ができた。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1	



大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 ビジネス 科目 情報処理発展

教科： ビジネス 科目： 情報処理発展 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 5 組 選択者

教科担当者： 工藤 大観

使用教科書： （ 令和5年度版全商情報処理検定模擬問題集ビジネス情報2級（実教出版） ）

教科 ビジネス の目標：

- 【知識及び技能】 情報やビジネス文書に関する実務的な知識およびソフトウェアを活用できる技能を育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】 情報や数値データなどをソフトウェアを活用し、適切に処理する力や表現できる力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】 授業及び課題に対して自ら取り組む姿勢を育成し、他者に対して支援できる素養を育成する。

科目 情報処理発展 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ハードウェアやソフトウェア、通信ネットワーク、情報モラルやセキュリティ、ビジネス文書に関する知識を習得する。表計算ソフトやワープロソフトを活用するための技能を習得する。	数値やデータ、課題などに関して、表計算ソフトやワープロソフトを活用することで、自らの思考・判断し、資料として適切なデータ処理や表現を行うことができる。	課題に対して自ら積極的に取り組むことで、自らの目標の達成に前向きに行動できる。作成したデータを適切に管理できる。また、自分の持つ知識や技能を他者に指導できる力を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 通信関連・表計算ソフト 【知識及び技能】 情報モラルとセキュリティに関する知識を習得する。表計算の基本的な利用に関する技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 データを利用して、条件付きの集計や複数項目を利用したグラフの作成ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作成したデータのファイル管理を適切にできる。分からない点を積極的に質問できる。	・指導事項 情報モラル セキュリティ 表計算ソフトウェア  ・教材 使用教科書(問題集) 検定過去問題(表計算)	【知識・技能】 情報モラルとセキュリティに関する知識について理解するとともに、ソフトウェア関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 集計やグラフの作成について、適切や表現を用いてデータ処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加するとともに、適切なファイル管理を行い、作成したデータが保存できている。	○	○	○	15
	B P Cの知識・表計算ソフト 【知識及び技能】 ソフトウェアやハードウェアに関する知識を習得する。表計算の基本的な利用に関する技能を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 データを利用して、複数条件付きの集計や適切なグラフを選択して資料作成ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作成したデータのファイル管理を適切にできる。分からない点を積極的に質問できる。	・指導事項 ハードウェア ソフトウェア 表計算ソフトウェア  ・教材 使用教科書(問題集) 検定過去問題(表計算)	【知識・技能】 ハードウェアやソフトウェアに関する知識について理解するとともに、ソフトウェア関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 表計算ソフトの関数や機能を利用して、適切や表現を用いたデータ作成ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加するとともに、適切なファイル管理を行い、作成したデータが保存できている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	C ビジネス文書1 【知識及び技能】 ビジネス文書の構成や要件についての知識を理解する。ワープロソフトウェアの基本的な活用に関する技能を習得する。 【思考力・判断力・表現力】 ビジネス文書として、適切な表の作成・編集、文書テーマに合致した画像を選択し、挿入することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作成したデータのファイル管理を適切にできる。分からない点を積極的に質問できる。	・指導事項 ビジネス文書の構成 ビジネス文書の要件 ワープロソフトウェア  ・教材 使用教科書(問題集) 検定過去問題 (ビジネス文書)	【知識・技能】 ビジネス文書の構成や要件について実務に即して理解するとともに、ワープロソフトを活用する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ビジネス文書の作成について、適切な表の作成や図の挿入を行い、データを作成することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に参加するとともに、適切なファイル管理を行い、作成したデータが保存できている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1





大田桜台 高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 人間と社会

教科： 人間と社会

単位数： 1 単位

対象学年組：第 2 学年 1組～ 5組

教科担当者：石橋侑都・茂呂真史・後藤良宏・馬場美直・糸井謙・内田博子・工藤大観・関太清・田中春菜・市川はるみ・高嶋さとり・嵯峨野知加  
 使用教科書：（人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」東京都教育委員会）

教科 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】社会に役立つ喜びと意義を知る。社会に役立つための知識と能力を高める。

【思考力、判断力、表現力等】様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有する。

【学びに向かう力、人間性等】社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高める。

科目 人間と社会 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会に役立つ喜びと意義を知る。 社会に役立つための知識と能力を高める。	様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。 自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有する。	社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	ガイダンス・希望調査 講話「ボランティアを始めるにあたって」 講義 教科書「はじめに」 体験活動  【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を知る。社会に役立つための知識と能力を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高める。	・指導事項 ボランティアを始めるにあたって。  ・教材 「はじめに」  【体験活動】（以下より選択） ・学校周辺を清掃するとともに、作物・土壌作りを行う。 ・多摩川周辺の清掃活動を行う。 ・児童館で地域児童と活動できることを考え、行う。 ・特別支援学校が必要とする支援品を作る。 ・こらば大森での施設の手伝いや環境整備などを行う。 ・特養老人ホームでの手伝いや環境整備などを行う。	【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を理解している。社会に役立つための知識と能力を高めている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学んでいる。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高めている。	○	○	○	5
	中間考査なし						
	講義 教科書「序章」 講義 第2章「学ぶことの意義」 講義 第6章「スマートフォン時代のコミュニケーション」 体験活動  【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を知る。社会に役立つための知識と能力を高める。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有する。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高める。	・指導事項 教科書「序章」を活用し、「大切にしたいこと」および「その理由」について考える。  ・教材 「序章」 「学ぶことの意義」 「スマートフォン時代のコミュニケーション」  ・一人1台端末の活用 それぞれの体験活動のために必要な情報等を調べる。また、発表に向けての資料等を作成する。	【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を理解している。社会に役立つための知識と能力を高めている。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学んでいる。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有している。 【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高めている。	○	○	○	9
期末考査なし							

2 学 期	<p>講義 第2章「学ぶことの意義」 講演 社会的・職業的自立支援教育プログラム「学ぶことの意義」 体験活動</p> <p>【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を知る。社会に役立つための知識と能力を高める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高める。</p>	<p>・指導事項 教科書「学ぶことの意義」を活用し、「大切にしたいこと」および「その理由」について考える。</p> <p>・教材 「学ぶことの意義」</p> <p>・一人1台端末の活用 それぞれの体験活動のために必要な情報等を調べる。また、発表に向けての資料等を作成する。</p>	<p>【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を理解している。社会に役立つための知識と能力を高めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学んでいる。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高めている。</p>					7
	中間考査なし							
	<p>講義 第3章「働くことの意義」 講演 社会的・職業的自立支援教育プログラム「働くことの意義」 体験活動</p> <p>【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を知る。社会に役立つための知識と能力を高める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高める。</p>	<p>・指導事項 教科書「働くことの意義」を活用し、「大切にしたいこと」および「その理由」について考える。</p> <p>・教材 「働くことの意義」</p> <p>・一人1台端末の活用 それぞれの体験活動のために必要な情報等を調べる。また、発表に向けての資料等を作成する。</p>	<p>【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を理解している。社会に役立つための知識と能力を高めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学んでいる。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高めている。</p>					7
期末考査なし								
3 学 期	<p>講義 第8章「チームを動かす力」 体験活動のまとめ 体験活動別発表会 講義 「最終章」・「おわりに」 体験活動</p> <p>【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を知る。社会に役立つための知識と能力を高める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学ぶ。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高める。</p>	<p>・指導事項 教科書「チームを動かす力」を活用し、「大切にしたいこと」および「その理由」について考える。</p> <p>・教材 「チームを動かす力」 「最終章」 「おわりに」</p> <p>・一人1台端末の活用 それぞれの体験活動のために必要な情報等を調べる。また、発表に向けての資料等を作成する。</p>	<p>【知識及び技能】 社会に役立つ喜びと意義を理解している。社会に役立つための知識と能力を高めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な立場の人々と共に生きるための生き方を学んでいる。自分の活動を発表するとともに、友人の活動を理解し共有している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 社会の様々な課題を知るとともに立ち向かう意欲を高めている。</p>					7
	学年末考査なし							合計
								35